

岐阜県博物館報

第45号

2022
岐阜県博物館

はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心とした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

令和 3 年度は館内での展覧会（特別展、企画展、マイミュージアムギャラリー展示）のほか、外部機関との連携企画展や移動展を多数計画しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、臨時休館、催し物の中止、延期等、当初の計画の変更を余儀なくされました。

こうした中で、特別展「薩摩の陶と刀」では、鹿児島県と岐阜県の姉妹県盟約 50 周年を記念して、岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、鹿児島の「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた展示を行いました。特別展「今日から防災！一過去を知り、未来へ備えよう」では、濃尾地震、御嶽山噴火、令和 2 年 7 月豪雨など自然災害の発生の仕組みや災害の状況を紹介するとともに、家庭でできる防災や災害発生時のための備えについて展示しました。企画展「ぎふの鳥 ライチョウー知って守ろう県の鳥ー」では、岐阜県博物館や岐阜大学が所蔵するライチョウに関わる資料を展示することで、岐阜県の豊かな自然の姿を紹介して、ニホンライチョウの保護活動への関心を高めました。企画展「岐阜の縄文世界」では、県内の縄文時代の特徴を示す出土品を展示することで、岐阜の縄文の一端を知っていただきました。このほか、博物館・図書館連携企画展「千磨百錬ーよみがえる赤羽刀・後篇ー」、「今よみがえる近世の庄屋～花村家のくらしをたどる～」、博物館・岐阜大学連携企画展「恐竜の復元模型展」、移動展「名前のヒミツ教えませー植物に隠された物語ー」等、館外で開催する展覧会も実施することができました。

令和 4 年度は、秋の特別展「発見！いにしへの岐阜ー弥生・古墳・古代ー」では、多くの発見が相次いだ弥生時代から古代の発掘調査成果を紹介するとともに、特に弥生時代末から古墳時代初めの墳墓にも注目し、あらためて岐阜の歴史に思いをはせる展覧会を開催します。特別展「パレオアート作品展ー二人のパレオアーティストー」では、古生物の復元作品として、小田隆氏（画家・イラストレーター）の古生物復元画と、徳川広和氏（古生物復元模型作家）の古生物復元模型をそれぞれ作品展示し、これらの作品を通して、古生物の科学的な側面だけでなく、古生物たちの生き生きとした姿を感じるとともに、芸術作品（アート）としての技術や価値など多方面から楽しんでいただきます。

このほか、博物館・図書館連携企画展、博物館・岐阜大学連携企画展、移動展等、館外の県内各地で開催する展覧会も計画しています。また、三重県総合博物館（MieMu）との交流企画講演会を含む全 14 回の講演会や、収蔵庫探検などを含む全 26 回のけんぱく教室を開催するなど、広く県民の皆様が親しみ、学んでいただける催し物を多数計画しております。加えて、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、外部機関との連携イベント、収蔵品や資料の館外展示による観覧機会の提供、館内、館外で収蔵品や資料を 360 度方向から閲覧できる「けんぱくデジタル展示室」など、より一層の魅力発信に努めてまいります。

ここに、令和 3 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 45 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のために引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 4 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 森 島 勝 博

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 令和4年度の組織・体制

1 職員	6
2 展示活動	7

III 令和3年度のあゆみ

1 職員	9
2 岐阜県博物館協議会	10
3 日誌抄	
4 実施事業の概要	11
5 展示活動	12
6 調査研究活動	23
7 資料収集活動	28
8 教育普及活動	29
9 利用状況	36
10 博物館関係団体	37

IV 利用案内（令和4年度）

38

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示

- ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
- ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
- ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ・解説が明確で分かりやすい展示
各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
- ・人文展示室（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
- ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を系統的に展示する。
- ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
- ・特別展示室、企画展示室
一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。

(3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。
- ・サポーターとの協働活動を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

		9月	人文展示室1を改装	8月	恐竜の歯等荘川村で発見			
		10月	開館10周年記念式典挙 行	9月	特別展「美濃山地の自然」			
昭和46年	3月		開館10周年記念展「ふ るさとの祭り」	10月	入館者160万人を突破			
	4月	昭和62年	4月	特別展「飛騨の弥生時代」 入館者110万人を突破	12月	ユタ州訪問「花フェスタ '95 展示化石の借用、交 流の推進」		
	6～9月		7月	特別展「外国から侵入し た生きものたち」	平成7年	3月	マイ・ミュージアム棟工 事の完成	
昭和47年	4月		10月	特別展「飛騨の匠」			ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行美 濃路編ソフト完成	
	8月	昭和48年	8月	旧徳山村民家移築復元	4月	特別展「岐阜の淡水魚」		
	3月	昭和49年	3月	自然展示室1を改装			花フェスタ'95にユタ州 恐竜化石を展示	
	10月		4月	特別展示室ショーケース 改修	7月	マイ・ミュージアム（マ ルチメディア情報セン ター）落成式典挙 行		
昭和50年	3月		7月	特別展「ふるさとの湿原」			一般公開	
	7月		10月	中部未来博'88 記念展 「中山道～美濃十六宿～」	8月	恐竜ゼミナールGIFU'95 開催		
昭和51年	1月		7月	特別展「中生代の化石」	10月	特別展「美濃・飛騨の古 代史発掘～律令国家の時 代～」		
	4月		10月	特別展「移ろいゆく年中 行事」			入定三百年記念「円空展」 （共催 名古屋市）	
	5月	平成元年	4月	特別展「濃飛の古墳時代」	11月	「マルチメディア工房ぎ ふ」開設（県下第1号）		
	7月		7月	特別展「ふるさとの野鳥」			円空シンポジウム「世界 における円空」	
	8月		8月	16日恐竜足跡化石白川 村で発見	平成8年	4月	高校生常設展入館料無料 化	
	10月		10月	特別展「日本生命財団から図書 「岐阜県博物館総合案内」 4,000冊の寄贈を受ける	5月	入館者170万人を突破		
	11月		11月	特別展「輪中と治水」	7月	開館20周年記念展「恐 竜のふるさとユタ」		
昭和52年	5月	平成2年	4月	特別展「白山の自然」	8月	アメリカ合衆国ユタ州プ リガムヤング大学付属地 球科学博物館と友好提携 調印式挙 行		
	7月		7月	特別展「白山の自然」	10月	飛騨美濃合併120周年記 念展「岐阜県の明治維新」		
	11月		11月	恐竜足跡化石レプリカ除 幕式	11月	飛騨美濃合併120周年記 念「文化講演会」		
	11月		12月	グリーンアドベンチャー 標識設置（自然観察のこ みち）	平成9年	3月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」	
	11月		12月	岐阜県博物館協議会に、 「新しい時代・県民ニー ズに対応できる博物館の 在り方について」諮問	4月	特別展「花と鳥のイリュ ージョン～江戸の学問と芸 術～」		
昭和53年	4月		10月	特別展「濃飛の先史時代」	9月	特別展「葉草のふるさと 伊吹」		
	7月		11月	特別展「濃飛の先史時代」	11月	入館者180万人を突破		
	7月		12月	岐阜県博物館協議会から 中間答申			棚橋賞受賞「岐阜県博物 館「マイ・ミュージアム」 ～来るべき世紀の新しい 博物館を目指して～」	
	10月	平成3年	3月	岐阜県博物館案内標識を 設置	平成10年	3月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」	
	11月		4月	特別展「ふるさとの木の 文化」			飛騨街道・郡上街道編ソ フト完成	
昭和54年	4月		7月	特別展「ふるさとの哺乳 動物」	4月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」 完成記念事業：風土記 フォーラム「マルチメ ディアで調べる岐阜の魅 力」		
	7月		10月	置県120年・岐阜鹿兒島 姉妹県盟約20周年記念展 「鹿兒島～その自然と歴 史～」	7月	特別展「つのかぶと むし」		
	10月		11月	入館者140万人を突破	9月	特別展「能面へのいざな い～白山山麓から～」		
	11月	平成4年	3月	岐阜県博物館協議会から 「新しい時代・県民ニー ズに対応する博物館の在 り方について」答申	平成11年	7月	特別展「恐竜時代～モン ゴルと手取層群の恐竜た ち～」	
昭和55年	4月		4月	特別展「飛騨のあけぼの ～交流する縄文・古代人 ～」	9月	入館者190万人を突破		
	5月		7月	特別展「恐竜王国・恐竜 ～謎とロマン～」			特別展「恐竜時代」	
	7月		10月	特別展「近世に輝く濃飛 の群像」				
	10月		11月	小中学生常設展入館料無 料化				
昭和56年	4月	平成5年	3月	入館者150万人を突破				
	5月		4月	特別展「土と炎の芸術」				
	7月		9月	29日大型ほ類足跡化石 を美濃加茂市で発掘				
	10月		10月	特別展「失われゆく植物」				
昭和57年	4月		11月	「ハイパーハイビジョン 風土記」イメージシミュ レーションソフトの完成				
	7月		平成6年	1月	20日マイ・ミュージア ム棟起工式			
	10月		3月	大型ほ類足跡化石を展示				
	12月		4月	特別展「川に生きる～水 運と漁業～」				
昭和58年	4月							
	5月							
	7月							
	10月							
昭和59年	4月							
	7月							
	8月							
	10月							
昭和60年	4月							
	7月							
	10月							
	12月							
昭和61年	4月							
	7月							

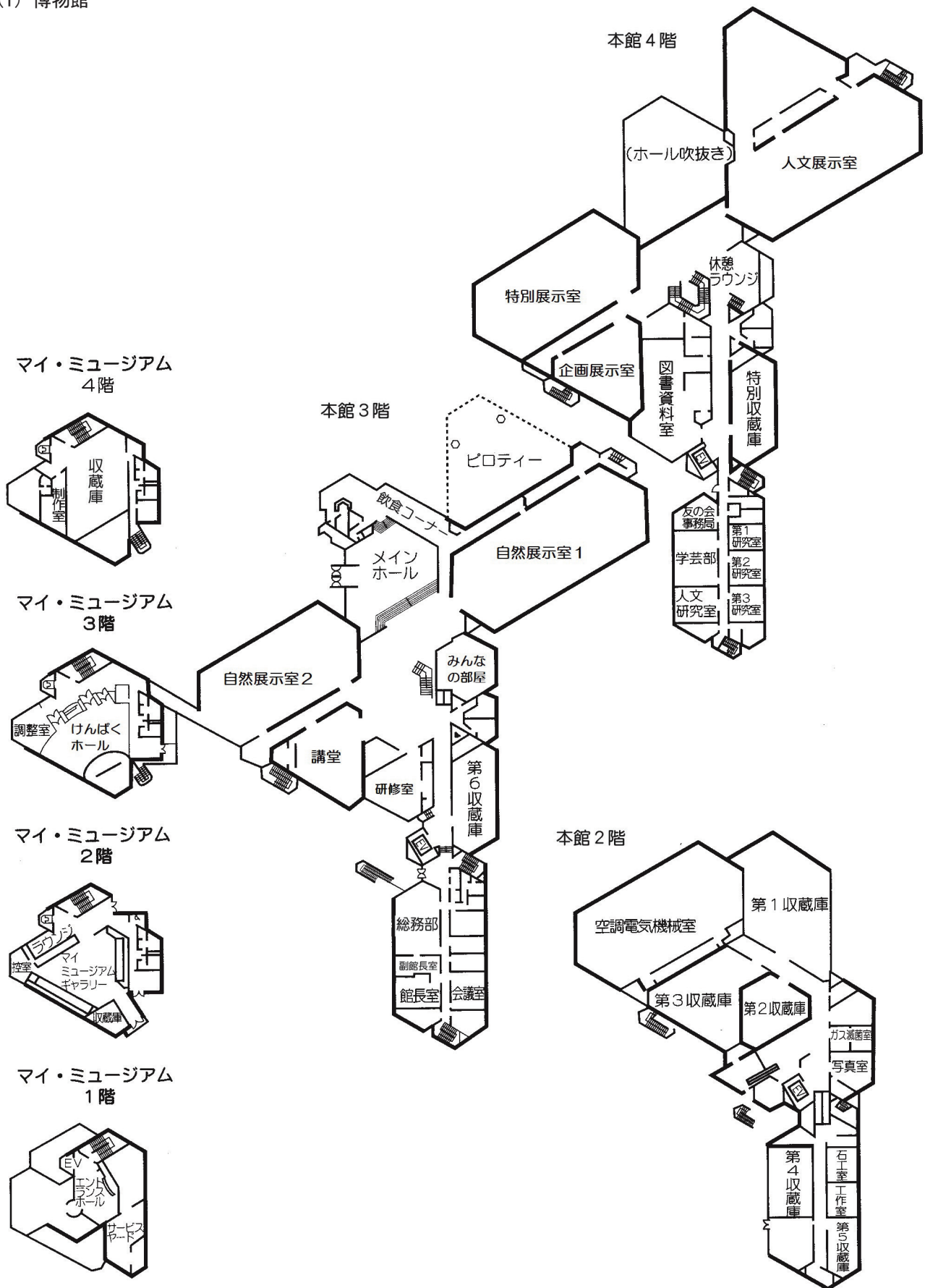
10月	特別展入館者4万人突破 特別展「水とまつり～古代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」	開館30周年記念特別展 「緑いきいき！岐阜の森」 5月	平成28年7月	「自然のくすり箱～葉草とわたしたちの暮らし～」 飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展	
平成12年7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」	8月	8月	「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学～」 入館者290万人を突破 カリコテリウム類の化石（国内初発見）特別展示	
9月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	9月	9月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展	
11月	入館者200万人を突破	9月	9月	「東海地方の円空仏」	
平成13年7月	特別展「あのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」	11月	平成29年4月	SNS開設	
9月	特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	平成19年7月	7月	民間施設連携開始	
11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」(マイミュージアムギャラリー)全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001グランプリ受賞	9月	9月	特別展「生きている大地～地質図が語るぎふの大地～」 中濃地域連携企画展	
平成14年2月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成	10月	10月	特別展「壬申の乱の時代～美濃国・飛騨国の誕生に迫る」	
3月	バリアフリー対策事業小型モノレール(スロープカー)完成	11月	10月	関市シティバス「百年公園前」バス停新設	
4月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	平成20年5月	12月	12月	収蔵品選集製作
5月	入館者210万人を突破	9月	平成30年4月	4月	特別企画展「兼定 刀都・関の名工」
10月	特別展「中山道街道400年」	平成21年9月	5月	5月	入館者300万人を突破
平成15年7月	特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心に～」	10月	7月	7月	特別展「理科室からふるさとを自然を見つめて～知れば知るほど面白い標本の世界～」
9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、葉草の魅力～」	平成22年7月	9月	9月	博物館機能の全展開本格稼働
10月	入館者220万人を突破	平成23年9月	9月	9月	特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家～大御乳・池田恒興・輝政の戦い～」
平成16年7月	特別展「タイムトラベル石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの？～」	11月	令和元年7月	7月	特別展「剣精霊貫白虹～幕末美濃の剣豪と名刀～」
9月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオカビゅーん～」	平成24年7月	9月	9月	特別展「岐阜は日本のど真ん中～岐阜県植物誌は語る～」
平成17年4月	高校生以下入館料年間無料化(特別展入館料無料化)	9月	12月	12月	入館者310万人を突破
5月	入館者230万人を突破	平成25年9月	令和2年4月	4月	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4/4～5/18を臨時休館
7月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」	平成26年2月	9月	9月	特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」
9月	特別展「『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～」	7月	12月	12月	特別企画展「みんなの恐竜学」
平成18年4月	開館30周年記念式典挙	9月	令和3年7月	7月	特別展「薩摩の陶と刀」
		4月	8月	8月	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8/27～9/30を臨時休館
		9月	10月	10月	特別展「今日から防災！」

5 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名		在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡忠良	16	平成17年	下畑五夫
2	昭和52年～昭和54年	松尾克美	17	平成18年	古川和明
3	昭和55年～昭和56年	大橋桃之輔	18	平成19年～平成20年	高屋一行
4	昭和57年～昭和58年	吉本幹彦	19	平成21年	浅野裕司
5	昭和59年	関谷美智男	20	平成22年	石田克
6	昭和60年～昭和61年	廣田照夫	21	平成23年～平成24年	河合正明
7	昭和62年～昭和63年	森崎利光	22	平成25年～平成26年	後藤弘之
8	平成元年～平成2年	伊藤秀幸	23	平成27年	杉原茂男
9	平成3年～平成4年	篠田幸男	24	平成28年	水谷淳子
10	平成5年～平成6年	横山勢津男	25	平成29年	中島守
11	平成7年～平成8年	清水廣美	26	平成30年～令和元年	平井克昭
12	平成9年～平成10年	高田晃	27	令和2年	川本敏
13	平成11年～平成12年	遠藤祐神	28	令和3年	副島雅浩
14	平成13年～平成14年	高橋宏之	29	令和4年	森島勝博
15	平成15年～平成16年	武山栞司			

6 施設・設備

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4			
	研修室	174.5	3階	けんぱくホール 調整室	192.3 47.0
	第6収蔵庫	93.2			
		142.8			
4階	人文展示室	942.3	4階	収蔵庫等	281.3
	特別展示室	478.8			
	企画展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

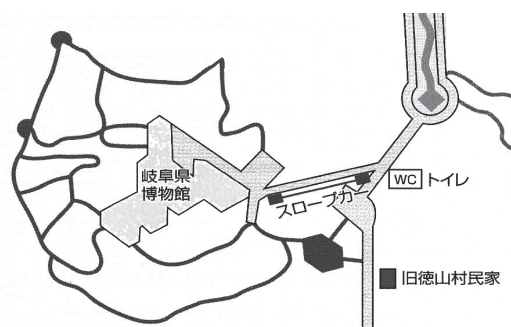
(2) 館外施設

① 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約 830mで、途中見晴らし台が 2 か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。



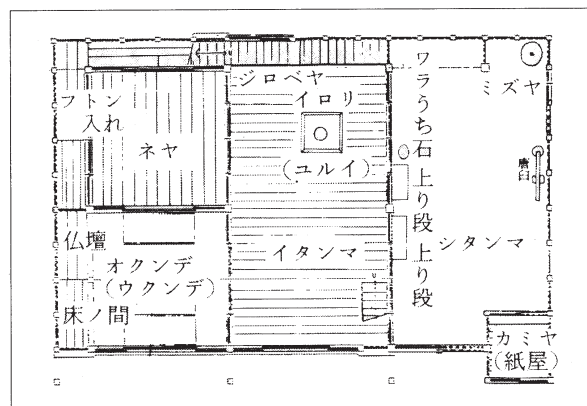
自然観察のこみち

② 旧徳山村民家

徳山ダム建設に伴い、徳山村は廃村となった（揖斐川町に合併）が、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和 62 年 10 月 7 日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料公開している（現在外観のみ公開）。

平成 30 年 11 月、「旧宮川家住宅主屋」として国登録有形文化財に登録された。令和元年度より保存活用事業を進めている。

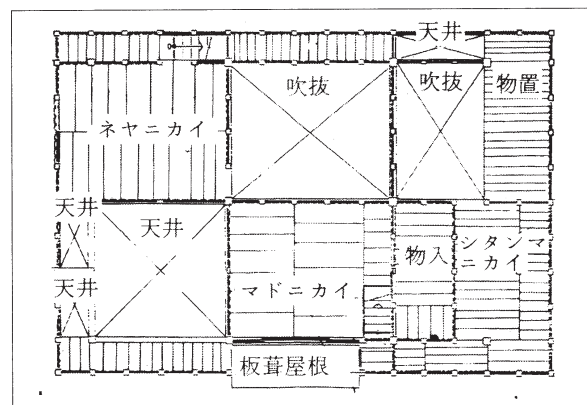
- ・様式：木造かやぶき 2 階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97 ㎡
- ・延面積：197.48 ㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治前期ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1階間取り図



旧徳山村民家

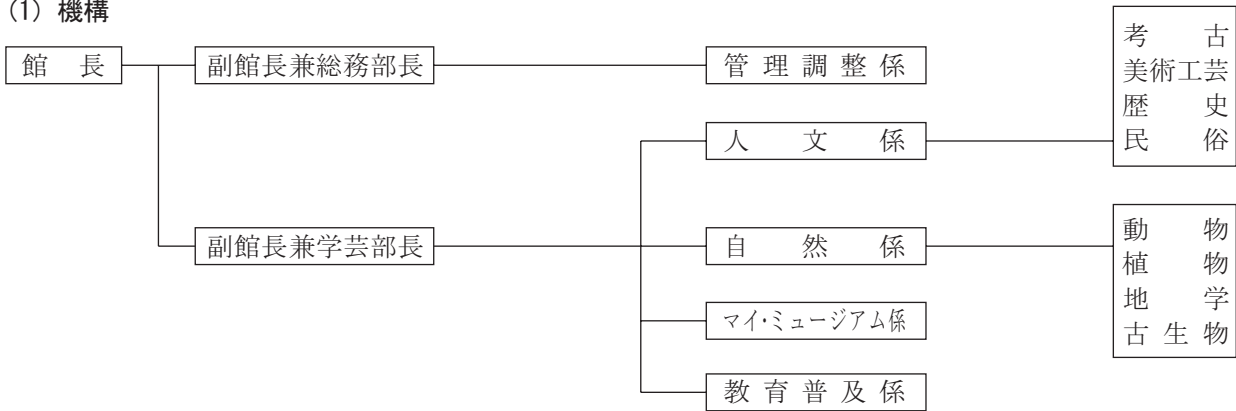


▲ 2階間取り図

II 令和4年度の組織・体制

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	森島勝博	副館長兼学芸部長	山田昭彦	[マイ・ミュージアム係] 係長	南本有紀
副館長兼総務部長	寺嶋祐三			主査	浅野伸保
【総務部】		【学芸部】		補助職員	益田豊
[管理調整係]		[人文係]			
課長補佐兼係長	堀拓嗣	係長(考古)	近藤大典	[教育普及係]	
課長補佐	林英和	主査(民俗)	長野宜延	課長補佐兼係長	則竹裕嗣
主査	古田里香	主任(歴史)	松井絵里子	主査	星野友多
主事	松島史弥		安藤均	学芸業務専門職	橋本清文
会計・人事労務業務専門職	小野真紀	[自然係]		"	高屋嘉由
補助職員	沢智美	係長(動物)	説田健一	"	武藤由美
		課長補佐(植物)	土屋寿美	管理業務専門職	坪井宏美
		主任(地学)	熊澤忍	"	長田麻友子
		主事(古生物)	高津翔平	"	加藤章
				"	福島江里菜
				"	倉橋美紀子
				"	鈴木奈おみ

(3) 異動(令和4年4月1日)

転出者(退職者)	館長(副)	島雅浩	転入者	館長	森島勝博
課長補佐兼係長	大野英悟		課長補佐兼係長	堀拓嗣	
"	小島剛太		主査	古田里香	
主査	酒井田恭子		"	松井絵里子	
"	立花昭		"	浅野伸保	
主任	加賀隆志		"	星野友多	

2 展示活動

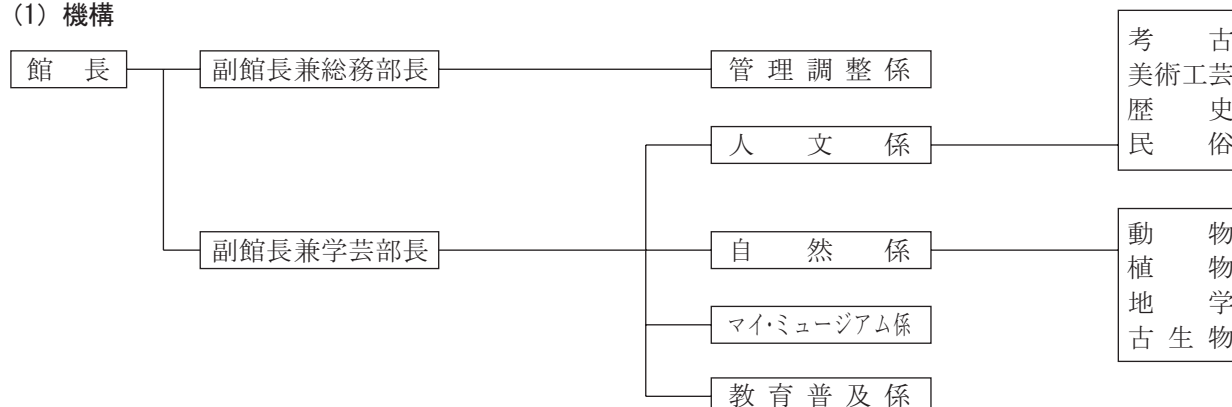
展 示 名	期 間	展 示 内 容
常設展	年 間	人文展示室では「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示します。特別展示室または企画展示室では「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示します。自然展示室 1 では「郷土の自然と私たち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示します。自然展示室 2 では「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示します。
移動展 「いつでも防災 ～次の“その時”に備えよう～」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	4/9 (土) ～6/5 (日)	岐阜県には 10 枚以上の活断層、5 つもの活火山があり、いつ災害が起きても不思議ではありません。本企画展では、地震、火山噴火、大雨といった自然災害に焦点を当て、自然災害が発生する仕組みを解説しつつ、災害発生時にはどのようなことが起こるのか紹介します。また、家庭でできる減災のための取り組みや災害発生時のための備えについても展示、紹介していくことで、いざという時のためについて考える機会とします。
博物館・岐阜大学連携企画展 「蔵出し！骨のあるやつ」 (前期：頭骨 後期：骨格)	4/23 (土) ～8/28 (日)	現在、私たちヒトと同じ脊椎動物は約 7 万種が知られています。最初の脊椎動物は海で生まれ、顎を持たない魚のような形をした生物でした。その後、脊椎動物は、顎を獲得し、効率よく餌を取ることができるようになり、さらには四肢の進化にともない、陸上や空中へ進出しました。本連携企画展では、これまでに岐阜県博物館と岐阜大学が収集した資料を中心に、脊椎動物の進化をたどり、いろいろな動物の骨をたっぷり紹介することで、骨の形の不思議さや美しさを楽しみながら、多様な生物の世界への関心を高める機会とします。
博物館・図書館連携企画展 「岐阜県博物館コレクション つながる ひろがる錦絵展」 (会場：岐阜県図書館)	4/23 (土) ～5/22 (日)	錦絵とは、江戸時代中期から明治時代に流行した多色摺の浮世絵木版画のことです。その用紙は大判がおよそ縦 39×横 26cm のサイズで、これを並べて大画面にした作品も存在しています。大判を横に 3 枚並べた大判 3 枚続がよく知られ、連続させることによって、一層スケールの大きな作品となるよう構成されています。岐阜県博物館が所蔵する錦絵のうち、武者絵や役者絵、相撲絵、風景画、開化絵など多彩なジャンルによる大判続絵に焦点を当てて紹介していきます。
特別展 「発見！いにしへの岐阜 —弥生・古墳・古代—」	9/16 (金) ～11/13 (日)	開発や史跡整備に伴う数多くの発掘調査によって、県下においても重要な“発見”が相次いでいます。本特別展では、それらの中から弥生時代から古代の選りすぐりの“発見”を出土品によって紹介するとともに、最も大きく認識が変わった弥生時代末から古墳時代初めの墳墓・古墳にも特に注目し、あらためて岐阜の歴史に思いをはせる展覧会とします。
博物館・岐阜大学連携企画展 「岐阜県の動物 哺乳類・爬虫類・両生類・十脚類」 (会場：岐阜大学図書館)	10/28 (金) ～12/9 (金)	岐阜県は自然豊かな地域であり、さまざまな調査・研究によって植物相や動物相が明らかにされていますが、地域の生態系を構成する多様な小・中型哺乳類や、爬虫類、両生類のことはあまり知られていません。本展では、私たちの身の回りの哺乳類・爬虫類・両生類・十脚類に焦点を当て、岐阜県内の野外で確認された外来種を含む全種の写真および標本、およびそれらに関する調査・研究についての展示を行うことで、岐阜県の豊かで魅力的な自然を紹介します。
特別展 「パレオアート作品展 —二人のパレオアーティスト—」	12/9 (金) ～2/26 (日)	本特別展では、古生物の復元作品として、小田隆氏（画家・イラストレーター）の古生物復元画と、徳川広和氏（古生物復元模型作家）の古生物復元模型をそれぞれ作品展示します。これらの作品を通して、古生物の科学的な側面だけでなく、彼らの生き生きとした姿を感じるとともに、芸術作品（アート）としての技術や価値など多方面から展示を楽しんでいただきます。
企画展 「天下人 家康と美濃の諸将」	2/4 (土) ～3/19 (日)	岐阜の地は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たしました。慶長 5 年(1600)、岐阜城の戦いをはじめ、東西両軍は美濃の各地でしのぎを削り、ついに関ヶ原の合戦で家康が政權の帰趨を決しました。一連の戦いの舞台となった美濃の勢力図は、家康主導のもとで大きく塗り替えられ、幕領や小藩領が混在するようになりました。本展示では、家康との関わりが深い諸将に焦点を当て、彼らゆかりの文化財の展示や城館の紹介を通じて、家康の時代を経て美濃の地がどのように変化していったのかを探ります。

展 示 名	期 間	展 示 内 容
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「彩られた和傘の世界 梅村茂一展」	4/2 (土) ～5/15 (日)	岐阜の伝統工芸品「岐阜和傘」に絵付けしたアート和傘は世界に一本だけの創作絵付け和傘です。ジャパニーズモダンとしてキリッとした日本の「粋」を発信しています。使用している番傘と蛇の目傘は男傘と女傘。「生きとし生けるものの鼓動」と「四季折々の花を愛でる」がコンセプトです。作者茂一の個性と作品への熱い思いが込められた一点物の絵付け和傘は 41 作品の展示です。鬼気迫る手描きの迫力と優雅で奥深い伝統的な意匠の岐阜和傘も展示いたします。日常触れる事の無い和傘をこの展覧会で身近に感じて、より興味を持ってもらえれば幸いです
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「岐阜の虎画の伝統と歩み」	6/4 (土) ～7/3 (日)	岐阜の虎画の始祖大橋翠石は渡辺小華に学び、明治 33 年パリ万博で金牌を受賞し、一躍動物画家として名を馳せるようになりました。翠石出現後岐阜一帯では虎画を描く画家が多く生まれ、中でも玉置頼石は翠石に礼接し、研鑽に励み多くの門弟を導き一家を成して日本動物画協会を主宰しました。門弟の佐久間頼峰、森田玉仙らの死後野村玉蕉、高松邦仙が師頼石の遺鉢を継ぎ現在に至っています。ここに伝統ある岐阜虎画の真髄なる秀作を修成し、贈る次第であります。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 —そこには文化がありました— 漫画★アニメ 熱虫！夢虫！コレクション！！	7/30 (土) ～9/4 (日)	鉄腕アトムをはじめ、ジャングル大帝、リボンの騎士、火の鳥、ブラック・ジャックなど多くの漫画を生涯描き続けた、漫画の神様・手塚治虫。偶然押入の奥から当時の本、「鉄腕アトム」が出てきました。懐かしさと感動でいろんな想いが蘇り、その作品の多さと絵のタッチに魅了され、いつしかグッズの収集に引き込まれていきました。今回はそんなコレクションの中から虫プロ時代のグッズ約 2500 点を展示し、漫画を通して当時の文化に触れて頂きたいと思います。
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 「ねお展：アジュール <small>自、由、無、縁</small> であり続ける 地域のこれまで そして これから」	10/1 (土) ～10/30 (日)	明治の濃尾地震、昭和の伊勢湾台風の大災害で多くの人が山を離れ、平成に入っても、林業の衰退で仕事を求め村を出る人、市町村合併の影響で町へ移り住む人、そして少子高齢化と、根尾の限界集落化がすすんでいます。他の地域同様、根尾もたくさんの課題を抱えています。それでも「根尾」の存在感は失われていません。そう感じさせる「何か」が今も息づいています。根尾は、千年近く、聖域であり、避難所であり、無縁所であり、そして自由な領域であり続けてきました。そして、これからも自由領域であり続けていくことでしょうか。ねお展では、アジュールとしての根尾の過去、現在、そして未来を展示していきます。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 「パッチワークキルト展 —郷土愛を布に託して—」	11/12 (土) ～12/4 (日)	私がパッチワークキルトに出合ったのは 35 年前。その時の感動が、今でも制作を続ける原動力となっています。糸で布と布をつなぐ作品は心を豊かにしてくれ、それと同時に人との繋がりを深めてくれました。パッチワークキルトがもたらした縁のある生徒さん達共に独自のデザイン、色彩で仕上げています。まだまだ未熟な私達ですが、この度皆様に見ただけの機会を得ました事に感謝しております。私たちのパッチワークキルトをどうぞご覧下さいませ。
マイミュージアムギャラリー 第6回展示 「土岐石 美の世界 樹木化石から色彩豊かな土岐石へ」	12/17 (土) ～1/22 (日)	土岐石は、岐阜県の東農地方に産出する太古の木の化石で限られた地層、土岐砂礫層の中のみ見付ける事の出来る貴重な石です。碧と言われている青緑色の物や黄色・紅色等を基調としてそれに様々な模様が加わり、また遠い昔、木であった頃の虫食い跡、腐れ跡等がみられ、色合いの美しさ、種類の豊富な事に魅力があり、バラエティーに富んだ色が様々な想像力を掻き立ててくれます。第 5 代將軍徳川綱吉に献上されて美しさに感動した綱吉が御止め石（採取する事を禁ずる）にした程の石なのです。木から化石、化石から色彩豊かな石へと変化した不思議な石の魅力を紹介します。
マイミュージアムギャラリー 第7回展示 「おひなさまのセカンドライフ 福よせ雛」	2/4 (土) ～3/19 (日)	現代の諸事情によりご家庭で飾ることができなくなったお雛様。 まだ美しいまま “やむをえず手放さなければならないお雛様をもう一度何かの役に立ててあげたい” という持ち主様の思いを受けて発案。 お雛様たちはみんなに “笑顔と福” を呼ぶ「福よせ雛」に生まれ変わり、人や施設や地域をつなぐキュービット役として全国各会場で新たな生活を送っています。 御嵩町も 4 年前より参加をし、お雛様たちが “みたけのまちづくり” の一翼を担ってくれています。

III 令和3年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	副島雅浩	【学芸部】 副館長兼学芸部長	山田昭彦	[マイミュージアム係] 係長	南本有紀
副館長兼総務部長	寺嶋祐三			主任	加賀隆志
【総務部】 [管理調整係] 課長補佐兼係長	大野英悟	[人文係] 係長(考古)	近藤大典	補助職員	益田豊
主査	林英和	主査(美術)	立花昭		
主査	酒井田恭子	主任(歴史)	長野宜延	[教育普及係] 課長補佐兼係長	小島剛太
主事	松島史弥		安藤均	課長補佐	則竹裕嗣
会計・人事労務業務専門職	小野真紀	[自然係] 係長(動物)	説田健一	学芸業務専門職	橋本清文
補助職員	沢智美	課長補佐(植物)	土屋寿美	"	高屋嘉由
		主任(地学)	熊澤忍	管理業務専門職	武井宏美
		"(古生物)	高津翔平	"	坪田麻友子
				"	加藤章
				"	福島江里菜
				"	倉橋美紀子
				"	鈴木奈おみ

(3) 異動(令和3年4月1日)

転出者	館長	(川本敏)	転入者	館長	副島雅浩
(退職者)	副館長兼総務部長	今瀬千秋		副館長兼総務部長	寺嶋祐三
	課長補佐	渡邊寛樹		課長補佐	林英和
	主査	金子好孝		"	則竹裕嗣
	主任	(小池明美)		主査	長野宜延
	主事	佐藤宏紀		主事	松島史弥

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
江原由佳	岐阜県PTA連合会母親委員
小川鈺子	前岐阜県博物館友の会副会長
春日井恵子	岐阜県小中学校校長会 大垣市立静里小学校長
亀谷みゆき	朝日大学教授
河井洋子	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園長
桐山圭司	岐阜新聞社常務取締役
清水博孝	公募委員
杉山博文	岐阜女子大学理事長
鈴木薫	NHK岐阜放送局長
須山知香	岐阜大学教育学部准教授
◎古川秀昭	前岐阜県美術館長
山田伝夫	中日新聞岐阜支社長

◎会長 (令和3年12月3日現在 五十音別・敬称略)
任期は令和2年9月24日から令和4年9月23日

(開催状況)

月日 令和3年12月3日(金)

場所 岐阜県博物館 講堂

○次第

(1) 岐阜県博物館の現状と実績について

(2) 議題:博物館とDX(デジタルトランスフォーメーション)

(3) その他(報告事項):令和4年度の特別展・企画展計画について

○主な提案・意見

- ・博物館としてのDXへの取り組みに関すること
- ・博物館の全県展開事業に関すること
- ・博物館職員の精力的な活動に関すること
- ・文化財の伝承や環境保全保護等の指導や情報に発信関すること

3 日誌抄

- | | | | |
|------|--|-------|---|
| 4. 1 | 人事異動に伴う辞令交付 | 22 | ミニ企画展「1970年代の日本」(～9/30) |
| 10 | 移動展「名前のヒミツ教えますー植物に隠された物語ー」(～6/6) | 23 | 特別展「薩摩の陶と刀ー響きあう美濃との歴史と文化ー」(～8/26) ※緊急事態宣言発令による休館に伴い会期短縮 |
| 10 | MMG展示「西美濃の書画家展」(～5/16) | 23 | 特別展連携展示「岐阜・鹿児島交流紹介コーナー」(～11/28) |
| 17 | けんぱく教室「百年公園で春を見つけよう」※雨天中止 | 24 | 学芸講座「ミュージアムめぐりの極意 博物館「中の人」が教えます」 |
| 18 | 出張けんぱく教室「カラフルタウン岐阜 化石レプリカづくり」 | 24 | 移動博物館「カラフルタウン岐阜 ミニ恐竜展」(～8/1) |
| 24 | 岐阜大学連携企画展「ぎふの鳥 ライチョウー知って守ろう県の鳥ー」(～6/27) | 27 | 教員のための博物館の日(～7/30) |
| 24 | 図書館連携企画展「千磨百錬よみがえる赤羽刀 後篇」(～5/29)※県図書館臨時休館に伴う中止 | 31 | MMG展示「プラモデル作品コレクション」(～8/26) ※緊急事態宣言発令による休館に伴い会期短縮 |
| 24 | 「令和2年度新収蔵品展(刀剣・染織)」(～6/27) | 31 | 出張けんぱく教室「カラフルタウン岐阜 恐竜足跡化石産地のVR体験」 |
| 24 | 特集展示「オリンピックの歴史とデザイン」(～6/27) | 31 | 移動博物館「恐竜ミニ展示inモレラ岐阜2021」(～8/30) |
| 24 | 特集展示「道を生んだもの道が生んだもの」(～6/27) | 8. 1 | 特別展講演会「薩摩焼について 特色とみどころ」 |
| 25 | 学芸講座「ライチョウの保護の最前線から」 | 3 | 関市夏休み親子教室 化石レプリカづくり |
| 29 | 学芸講座「オリンピックのデザインー東京オリンピックを中心にー」 ※中止 | 3 | 県議会議員視察 |
| 5. 3 | けんぱく教室「笛をつくって遊ぼう」 ※中止 | 5 | 県議会副議長視察 |
| 5 | けんぱく教室「恐竜を造ろう」 ※中止 | 6 | 出張けんぱく教室「モレラ岐阜 化石レプリカづくり」 |
| 5 | けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」 ※中止 | 13 | 小屋名精霊送り「チンチカカ」の日限定小屋名地区住民限定無料入館日(～8/15) |
| 9 | 出張けんぱく教室「マーサ 21 恐竜足跡化石産地のVR体験」 ※中止 | 14 | 悪天候による百年公園の臨時休園に伴う休館 |
| 15 | スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり ※中止 | 19 | 出前授業「藍見公民館 勾玉づくり」 |
| 16 | スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり ※中止 | 25 | 博物館実習(～8/27) |
| 29 | 図書館連携企画展講演会「熱田神宮の刀剣」 ※中止 | 27 | 緊急事態宣言発令による休館(～9/30) |
| 29 | ミニ企画展「東京オリンピックと1960年代」(～7/21) | 9. 2 | 出前講座「各務原産業文化センター 化石レプリカづくり」 ※中止 |
| 30 | けんぱく教室「収蔵庫探検ー自然史標本の役割を知るー」 ※中止 | 5 | 特別展講演会「さつまの刀 波平の歴史と魅力」リモート講演 |
| 6. 5 | MMG展示「懐かしのビン・コレクション再び」(～7/18) | 18 | 出張けんぱく教室「イオンモール各務原 化石レプリカづくり」 ※中止 |
| 6 | けんぱく教室「キビタキのさえずりを聞こう」※中止 | 20 | 学芸講座「豊臣政権における「奉行衆」リモート講演再開館 |
| 6 | ミニ企画展「美しいカトカラの仲間」(～11/29) | 10. 1 | ミニ企画展「雑誌が伝える昭和の災害」(～12/27) |
| 20 | 企画展講演会「岐阜県民は県の鳥“ライチョウ”が嫌いなのか？」 ※中止 | 1 | MMG展示「みんな描けちゃう 絵画教室作品展 絵手紙・水彩画・パステル画・油絵」(～10/17) ※会期短縮 |
| 27 | 学芸講座「岐阜県植物誌から浮かんだ岐阜県を特徴づける植物」 | 8 | 特別展「今日から防災!ー過去を知り、未来へ備えようー」(～12/12) |
| 7. 3 | 出張けんぱく教室「マーサ 21 つくってあそぼう! むかしのおもちゃ」 | 8 | 特別展連携展示「古地図で振り返る関市の災害」(～11/28) |
| 4 | けんぱく教室「和紙の国岐阜 和紙漉き体験」 | 9 | 特別展講演会「火山噴火の防災と予知ー2014年御嶽山噴火惨事を繰り返さないためにー」 |
| 19 | ステゴサウルス全身骨格 丹波市立丹波電化石工房へ出張(～9/6) | 16 | オータムフェスティバル けんぱくワークショップ |
| 20 | 夏期ミニ展示「篠山層群の恐竜化石」(～9/5) | | |
| 22 | 夏期ミニ展示「国内最古の恐竜卵殻化石」(～9/12) | | |
| 22 | 学芸員なう「南島に生きる」(～1/21) | | |

- 化石レプリカづくり ※中止
- 17 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
化石レプリカづくり ※中止
- 17 特別展開連イベント「地震の揺れを体験しよう」※中止
- 17 けんぱく教室「驚きの水彩画」
- 23 三重県総合博物館交流企画「三重県を東西に走る中央構造線の活動史」
- 24 学芸講座「スーパーカミオカンデで探る素粒子と宇宙」
- 27 本巣市立本巣小学校 リモート授業
- 29 岐阜大学連携企画展「恐竜の復元模型展」(～12/24)
- 30 MMG展示「染織のいろー美濃友禅の世界ー」(～12/5)
- 30 けんぱく教室 森林総合教育センター morinos 連携企画「百年公園で秋を見つけよう」
- 30 MM 棟ラウンジ展示「kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」(～11/28)
- 31 けんぱく教室「収蔵庫探検ー自然史標本の役割を知るー」
11. 3 岐阜～ふるさとを学ぶ日(無料開放日)
- 3 けんぱく教室「染色体験」
- 7 学芸講座「クビナガリュウの見た世界」
- 8 自然展示室2 透明パーティション設置
- 9 本巣市一色小学校 リモート授業
- 11 岐阜県副知事視察
- 13 岐阜県・鹿児島県姉妹県盟約 50 周年記念講演会「岐阜と鹿児島島の絆 鶴丸城御楼門復元事業」
- 20 学芸講座「旧徳山村ものがたり ダム水没村の民俗世界」
- 20 けんぱくワークショップ「未来につなぐわくわく Week 化石レプリカづくり」
- 20 特別展開連イベント「地震の揺れを体験しよう」(～11/21)
- 21 けんぱく教室「X' mas リースづくりーつるをまいてつくろうー」
- 23 けんぱく教室「恐竜を造ろう」
- 23 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」
- 25 出前授業「下呂市立馬瀬小学校 化石レプリカづくり、化石取り出し体験」
- 27 特別展「今日から防災！ー過去を知り、未来へ備えようー」来場者1万人達成
- 27 特別展講演会「震災の記憶と教訓」
- 30 ミニ企画展「学ぼう！生活の中の自然」(～2/27)
12. 1 人文展示室・企画展示室 LED 照明工事(～2/10)
- 3 博物館協議会
- 3 出前講座「山県市富岡公民館 化石取り出し体験」
- 4 出張けんぱく教室「イオンモール各務原 化石レプリカづくり」
- 5 学芸講座「岐阜の見世物稼業 安田里美と安田興行社」
- 11 出前講座「郡上総合文化センター 化石レプリカづくり・恐竜の絵を描こう」
- 13 恐竜のすず払い
- 15 本巣市外山小学校 リモート授業
- 18 MMG展示「収集 30 年の時 揖斐川石と世界に誇る根尾川菊花石」(～1/23)
- 18 クリスマスナイトミュージアム
- 28 ミニ企画展「わら、縄細工」(～3/28)
1. 7 博物館友の会企画「七草がゆを食べよう」 ※中止
- 7 けんぱく教室「正月あそび」 ※中止
- 8 企画展「岐阜の縄文世界」(～3/13)
- 11 マーゴサテライト展示「みんな知ってる？岐阜の花」(～1/27)
- 16 けんぱく教室「収蔵庫探検ー自然史標本の役割を知るー」
- 19 出前講座「岐阜県立三里小学校 化石レプリカづくり」 ※リモート授業に変更
- 21 大垣市立静里小学校 リモート授業
- 22 図書館連携企画展「今よみがえる近世の庄屋 花村家のくらしをたどる」(～3/6)
- 22 学芸員なう「博物館サポーターの活動紹介(植物編)」(～5月中旬)
- 25 本巣市立席田小学校 リモート授業
2. 5 MMG展示「自分の可能性に向かって挑戦できる学校 岐阜城北高校の“魅力”」(～2/27)
- 6 学芸講座「縄文時代の精神世界」 ※リモート講演
- 20 けんぱく教室「縄文土器を観察しよう」 ※中止
- 22 本巣市立土貴野小学校 リモート授業
3. 6 けんぱく教室「縄文ものづくり体験ーアングイン編をやってみようー」 ※リモート開催
- 10 岐阜市立長良中学校 リモート授業
- 11 岐阜市立長良中学校 リモート授業
- 15 人文展示室改修工事(～3/31)
- 15 「けんぱくデジタル展示室」設置
- 16 各務原市立稲羽中学校 リモート授業
- 18 イオンモール各務原サテライト展示「今年は寅年！トラ関連展示」(～4/4)
- 18 本巣市立真正中学校 リモート授業
- 20 けんぱく教室「春のチョウを観察しよう」
- 21 出張けんぱく教室「イオンモール各務原 化石レプリカづくり」
- 23 本巣市立真正中学校 リモート授業
- 29 ミニ企画展「岐阜の和傘」(～5月中旬)

4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の自然や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を運営目標として、特別展、企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。特別展のテーマに関わるその道の研究者による講演会など各種講演会・講座、参加体験型の催し物、学芸員による出前授業や講師派遣など多くの事業を展開した。特に、特別展「薩摩の陶と刀」・「今日から防災」を行い、多くの方々に来館いただけた。

(1) 展示活動

特別展などの展示活動を P12 の表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、令和 3・4 年度の特別展などに関連した県内外資料の調査を行った。自然分野では、県内外資料の調査に加え、百年公園の里山の動植物生態調査(モニタリング 1000)、県内植物分布調査、令和 3・4 年度の特別展に向けた県内外の資料調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施するとともに、歴史、美術工芸資料を資料として加えた。自然分野では、県内外の動植物や古生物、岩石鉱物資料を資料として加えた。

(4) 教育普及活動

平成 28 年度から続いている「教員のための博物館の日」は昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、本年度は 7 月 27 日(火)～7 月 30 日(金)に 4 日間実施した。わくわく体験は原則毎月第 2、第 4 日曜日と定期的な開催としていたが、6 月までは臨時休館や催し物の自粛により停止していた。7 月からは、会場がいわゆる三密にならないように留意しながら、定員制を導入して再開した。

団体等の利用では、利用を控える学校もある中で、来館する学校団体もあり、生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。また、本年度よりリモート授業を積極的に実施し、来館できなくても博物館の学習プログラムが利用できるようにした。

博物館サポーターの活動では、99 名が登録し、活動内容にあわせて 11 の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文展示室では、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示した。特別展示室または企画展示室においては、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示した。自然展示室1では、郷土の自然の概要を系統的に展示した。自然展示室2では、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示した。	—
移動展 「名前のヒミツ教えます —植物に隠された物語—」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	4/10 (土) ～6/6 (日)	名前にはその植物たる由縁の物語が存在する。岐阜県博物館には、岐阜県内を歩きまわり、すべてを網羅して集められた植物標本が12万点以上保管されている。標本は同定され、岐阜県の地名などをもとに名が付けられている。本展では、岐阜県で見つけることができる植物の名の秘密を紹介した。	15,531
博物館・岐阜大学連携企画展 「ぎふの鳥 ライチョウ —知って守ろう県の鳥—」	4/24 (土) ～6/27 (日)	岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、多種多様な生物が見られる。なかでも、御嶽、乗鞍山及び飛騨山脈に生息するニホンライチョウは県の鳥でもあり、岐阜県の豊かな自然を象徴する動物である。当展では、岐阜県博物館や岐阜大学が所蔵するライチョウに関する資料を展示することで、岐阜県の豊かな自然の姿を紹介するとともに、ニホンライチョウの保護活動への関心を高める機会とした。	6,159
博物館・図書館連携企画展 「千磨百錬 —よみがえる赤羽刀・後篇—」 (会場：岐阜県図書館)	4/24 (土) ～6/13 (日)※ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/24 (土)～5/23 (日)までに会期を変更	「赤羽刀」とは、GHQに接収された後、国を介して全国の博物館に返還された日本刀をいう。平成11年(1999)一般公開を条件に、3,209点が刀工の出身地等に立地する公立博物館等に譲与され、当館では168点を受領した。これらの赤羽刀は劣悪な保管環境によって錆びつき、大半が展示できる状態ではないため、順次、研磨してハバキと白鞘をつくっている。本展では、作業が終了した48点について、一堂に公開した。	3,260
特別展 「薩摩の陶と刀」	7/23 (金) ～9/26 (日)※ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため7/23 (金)～8/26 (木)までに会期を変更	江戸中期、薩摩藩によって実施された木曾三川の宝暦治水工事が契機となり、昭和46年に鹿児島県と岐阜県とのあいだで姉妹県協約が結ばれた。以後、さまざまな交流事業がおこなわれるなか、令和3年には50周年を迎える。このことを記念し、岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた展覧会を開催した。	5,398
特別展 「今日から防災！ —過去を知り、未来へ備えよう—」	10/8 (金) ～12/12 (日)	岐阜県では、2014年の御嶽山噴火や1891年の濃尾震災など、県内の各地でいくつもの自然災害が発生している。また、岐阜県内に活断層は10以上あり、地震をはじめ、自然災害はいつでもどこでも起こりうるものである。本特別展では、自然災害について、事例やその仕組みについて解説したり、歴史資料を展示したりするだけでなく、家庭でできる防災などについても紹介し、家庭での防災・減災に取り組む機会とした。	12,494
博物館・岐阜大学連携企画展 「恐竜の復元模型展」 (会場：岐阜大学図書館)	10/29 (金) ～12/24 (金)	古生物復元造形作家(パレオアーティスト)の徳川広和氏は、恐竜をはじめとする古生物の復元模型を多数制作している。同氏の作品は博物館などの展示資料としてだけでなく、国内外の学術集会や研究発表にも活用されており、その専門性の高さがうかがえる。本展示では、同氏が制作した恐竜復元模型を中心に展示するとともに、復元模型の製作過程のパネル展示や岐阜県博物館が所蔵する化石標本をあわせて展示・紹介した。	20,361
企画展 「岐阜の縄文世界」	1/8 (土) ～3/13 (日)	縄文時代のイメージは、数多くの発掘調査成果から既存の見方に対して再評価が進み、1年以上続いた縄文時代への関心が高まっている。それでは岐阜の縄文時代はどうだったのか。県内では2千を越す縄文時代の遺跡が知られ、各地の発掘調査によって、少しずつ当時の様子が明らかになっている。当展で、岐阜の縄文の一端を知っていただく機会とした。	4,952
博物館・図書館連携企画展 「今よみがえる近世の庄屋 ～花村家のくらしをたどる～」 (会場：岐阜県図書館)	1/22 (土) ～3/6 (日)	江戸時代中期より代々にわたって、本郷村の庄屋を務めた花村家。百姓の一家でありながら、将軍に直接お目通りが許される「御目見得」や帯刀御免を許可されるほど力をもっていました。この度、花村家の方々が大切に保管されていた道具類、史料の一部を展示した。展示を通して、花村家の華やかなくらし、庄屋として本郷村での功績をふりかえるとともに、近世のむらの庄屋の生活の一端を紹介した。	1,631
マイミュージアムギャラリー	(P21 参照)	「西美濃の書画家展」をはじめ、7回の展示を実施した。	—

岐阜県博物館・岐阜大学連携企画展「ぎふの鳥 ライチョウー知って守ろう県の鳥ー」

1 開催期間

令和3年4月24日（土）～6月27日（日）

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館
共催：岐阜大学
後援：岐阜県教育委員会

3 趣旨

岐阜県は、標高 3,000 メートルを超える飛騨山脈から木曾三川が流入する濃尾平野まで、地域によって気候や地形に大きな差があり、多種多様な生物が見られる。なかでも、御嶽、乗鞍山及び飛騨山脈に生息するニホンライチョウは県の鳥でもあり、岐阜県の豊かな自然を象徴する動物のひとつで、令和2年度には、第19回ライチョウ会議ぎふ大会も開催された。

本企画展では、岐阜県博物館と岐阜大学が所蔵するライチョウに関わる資料を展示することで、岐阜県の豊かな自然の姿を紹介するとともに、ニホンライチョウの保護活動への関心を高める機会とした。

4 展示構成

(1) ぎふの鳥 ライチョウ

(2) ライチョウのなかま

ライチョウを含むキジ科の鳥類を紹介した。

①ライチョウ属

主な展示資料：ニホンライチョウ（岐阜大学所蔵）、クロライチョウなどの剥製

②ライチョウ亜科

主な展示資料：チベットセッケイなどの剥製

③キジ科

主な展示資料：キジ、ヤマドリなどの剥製

(3) すみかと食べもの

高山帯に生息するライチョウの生態を紹介した。
主な展示資料：高山帯に生育する植物標本など

(4) 迫る脅威と保全活動

ニホンライチョウに迫る危機と現在行われている保全活動を紹介した。

①温暖化

主な展示資料：チシマザサやイネ科植物の植物標本

②新たな天敵と大型哺乳類の侵入

主な展示資料：キツネ、テン、ニホンザルなどの剥製

③ライチョウ復活作戦

主な展示資料：中央アルプス産ライチョウの剥製（長野県宮田小学校所蔵）

④ライチョウ用飼料の開発

主な展示資料：ライチョウ用の飼料など（富山市ファミリーパーク所蔵）

⑤岐阜県の取り組み

主な展示資料：乗鞍環境学習副読本などの普及啓発資料

(5) 学校教育とライチョウ

戦前の学校教育とライチョウとのかかわりを紹介した。

主な展示資料：高等学校が保管していたライチョウの剥製、戦前の教科書、博物学標本目録

5 その他

コロナ禍のため、企画展講演会「岐阜県民は県の鳥”ライチョウ”が嫌いなのか？」講師：楠田哲士（岐阜大学応用生物科学部 准教授）が中止となった。



展示風景①



展示風景②

特別展 薩摩の陶と刀

1 開催期間、会場

期間：令和3年7月23日（金・祝）～9月26日（日）
（ただし、8月27日～9月26日、新型コロナウイルス感染拡大のため全館休館）

2 主催、後援、協力

主催：岐阜県博物館・中日新聞社
後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会
特別協力：鹿児島県歴史・美術センター黎明館

3 趣旨

江戸中期、薩摩藩によって実施された木曾三川の宝暦治水工事が契機となり、昭和46年に鹿児島県と岐阜県とのあいだで姉妹県盟約が結ばれて50周年を迎えたことを記念する展覧会。岐阜の美術工芸として馴染みの深い「陶磁器」と「刀剣」に着目し、鹿児島の「薩摩焼」と「薩摩刀」に焦点を当てた。

幕末に欧米で絶賛され、工芸のジャポニスムを沸きおこした絢爛豪華な「薩摩焼」、そして波平一派に代表され、その歴史は平安時代にまでさかのぼる「薩摩刀」は世に名高いものの、これまで岐阜県内で紹介される機会は少なく、十分に知られているとはいいがたい状況にある。こうした中、鹿児島県歴史・美術センター黎明館の所蔵品を中心として、それらの歴史や優れた技術・技法などを紹介した。

4 展示構成

薩摩の陶

- 第1章 薩摩焼濫觴
- 第2章 世界のSATSUMAへ
- 第3章 百花みだれる薩摩焼

明治期の絢爛豪華な薩摩焼を中心に、初期の茶陶や、県内各地で生産された地域色ある陶磁器について紹介した。

【主な展示作品】

- 《白釉茶碗 銘 すはま》薩摩 御判手 江戸時代初期 個人蔵（鹿児島県歴史・美術センター黎明館保管）
- 《錦手牡丹文花瓶》薩摩 苗代川系 十二代沈壽官 明治時代中期
- 《錦手松竹梅鶴亀波文浮彫花生》薩摩 苗代川系 東郷壽勝 明治時代中期 鹿児島県歴史・美術センター黎明館
- 《錦手鹿児島八景図大皿》薩摩 堅野系 慶田政太郎 山下雪山絵付 明治31-大正2年頃 など

薩摩の刀

- 第4章 薩摩島津家伝来の名刀
- 第5章 薩摩刀
- 第6章 薩摩の美濃刀

波平一派の流れを紹介するとともに、島津家ゆかりの刀剣や、美濃との関りのある刀剣を展示。

【主な展示作品】

重要文化財

- 《太刀 銘 波平行安（号 笹貫）》薩摩 波平行安 鎌倉時代 京都国立博物館
- 《刀 無銘（号 朝鮮兼光）備前長船兼光 南北朝時代 個人蔵（鹿児島県歴史・美術センター黎明館保管）
- 《刀 銘（一ツ葉葵紋）主馬首一平藤原安代／遙奉鈞命於薩州作之 享保甲辰年》薩摩 享保9年 鹿児島県歴史・美術センター黎明館 など



展示室の様子

5 関連事業

- (1) 講演会「薩摩焼について 特色とみどころ」
講師 深港 恭子（鹿児島県歴史・美術センター黎明館主任学芸専門員）
日時 8月1日（日）（13:30～15:00）
- (2) 講演会「さつまの刀 波平の歴史と魅力」（リモート）
講師 切原 勇人（鹿児島県歴史・美術センター黎明館学芸課長）
日時 9月5日（日）（13:30～15:00）
- (3) 講演会「岐阜と鹿児島の絆 鶴丸城御楼門復元事業」
講師 亀山 義比古（亀山建設株式会社社長）
日時 11月13日（土）（開催日延期）

特別展 今日から防災！—過去を知り、未来へ備えよう—

1 開催期間、会場

期間：令和3年10月8日（金）～12月12日（日）

2 主催、後援、協力

主催：岐阜県博物館・岐阜新聞社 岐阜放送
後援：NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会
協力：国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター
リアス・アーク美術館

3 趣旨

令和元年の台風15号や19号、令和2年7月豪雨など、毎年のように全国各地で自然災害が発生し、甚大な被害を出している。また、岐阜県には10枚以上の活断層があり、いつ地震が起きても不思議ではない。一方で、自然災害の発生は止められなくとも、日頃から災害に備えておくことで被害を小さくすることはできる。本特別展では、いろいろな自然災害に焦点を当て、その発生の仕組みや災害の状況を紹介するとともに、家庭でできる防災や災害発生時のための備えについても展示、紹介した。

令和3年（2021年）は、日本内陸部で発生した地震では世界最大級の規模である濃尾地震から起算して130年、さらに、2011年に発生した東日本大震災から10年という節目の年であった。そこで、いざという時のための防災、減災について考える機会を提供することとした。

4 展示構成

第1章 ～いろいろな災害やその仕組みを知る～

地震や豪雨、火山噴火などの災害とその発生原理などについて紹介した。

【主な展示資料】

フェーズドアレイ気象レーダ模型（情報通信研究機構）、航空機搭載合成開口レーダ アンテナポッド（情報通信研究機構）、ボアホール観測機器（東濃地震科学研究所）東北地方太平洋沖地震の際の写真や被災物（リアス・アーク美術館）など

第2章 ～岐阜県で起きた災害～

岐阜県で発生した災害（濃尾震災、御嶽山噴火、大雨による洪水）について取り上げ、岐阜県においても大きな災害が起こることを展示した。

【主な展示資料】

御神木実物（大湫町コミュニティセンター）、御嶽山2014年噴火の噴石（岐阜県博物館）、錦絵（小国政「岐阜県愛知県大地震実況」、歌川国利「岐阜市街大地震之図」）（岐阜県博物館）など

第3章 ～もしもに備える～

防災についての展示。家庭でできる防災を紹介するとともに、防災グッズ（非常持ち出し袋）や大人一人に対する3日分の食料などを紹介した。

【主な展示資料】

避難時の格好、岐阜県活火山マップ、岐阜県活断層マップ、転倒防止器具（せき防災の会）、備蓄品（大人一人当たりの3日分の食料など）など

第4章 ～県や博物館の取り組み～

東日本大震災や令和2年7月豪雨における、博物館の取り組みなどを紹介した。

【主な展示資料】

令和2年7月豪雨による文化財レスキューで使用した道具、作業時の格好など



展示室の様子

5 関連事業

(1) 講演会「火山噴火の防災と予知—2014年御嶽山噴火惨事を繰り返さないために—」

講師 木股 文昭（東濃地震科学研究所 副首席主任研究員）

日時 10月9日（土）（13：30～15：00）

(2) 講演会「震災の記憶と教訓」

講師 佐藤 克美（気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 前館長）

日時 11月27日（土）（13：30～15：00）

(3) けんぱく教室「地震の揺れを体験しよう」

日時 10月16日、17日

会場 百年公園北口駐車場

企画展 岐阜の縄文世界

1 開催期間

令和4年1月8日（土）～3月13日（日）

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館

後援：岐阜県教育委員会

3 趣旨

縄文時代のイメージは、例えば現行の教科書などでは弥生時代との比較対象として扱われ、未発達で不安定な社会であったとして描かれることもある。しかし、数多くの発掘調査の成果からそのような見方に対して再評価が進み、縄文時代への関心が高まっている。

それでは岐阜県の縄文時代はどうだったのか。岐阜県内では、2千を越す縄文時代の遺跡が知られている。

本展では、県内における縄文時代遺跡の発掘調査成果から、その特質を示す出土品を紹介し、あらためて岐阜の縄文を知っていただく機会とした。

4 展示構成

① 縄文時代の社会

石器の変化、縄文土器の誕生、定住生活、縄文社会のネットワークなどの観点から、縄文時代の社会を概観した。

【主な展示資料】

ナイフ形石器（寺屋敷遺跡・揖斐川町）、赤保木遺跡（高山市）出土の縄文土器、石囲炉模型、大平遺跡（恵那市）黒曜岩製石器群、高畑遺跡（池田町）サヌカイト製石器群、岩垣内遺跡（高山市）タカラガイ形土製品。以上、県文化財センター蔵。

縄文土器深鉢（宮ノ前遺跡・飛騨市）。飛騨市蔵。

尖頭器 石鏃 石製土掘り具 石皿 敲石 石包丁。以上、館蔵など

② 岐阜県の縄文土器

縄文土器の特徴は高い装飾性である。大きな立体装飾、動物？を象った立体的な文様を持つもの、変わった形など県内出土の装飾性の高い土器や、縄文土器の中でも特に個性的な造形を持ちその用途が謎に包まれた鏝付き土器などを紹介した。

【主な展示資料】

戸入村平遺跡（揖斐川町）・塚奥山遺跡（同）・赤保木遺跡（高山市）・岩垣内遺跡（同）・上岩野遺跡（同）・岡前遺跡（飛騨市）出土土器。以上、県文化財センター蔵 宮之脇遺跡（可児市）出土土器。可児市蔵。

堂ノ前遺跡（飛騨市）・島遺跡（同）出土土器。以上、飛騨市蔵など

③ 縄文時代の精神世界

縄文時代の精神世界をうかがうため、石製品から御物石器、石冠、石棒を、土製品から土偶と耳飾を取り上げ紹介した。

【主な展示資料】

西田遺跡（高山市）・上岩野遺跡（同）・岩垣内遺跡（同）・赤保木遺跡（同）出土の土偶。以上、県文化財センター蔵。

家ノ下遺跡（飛騨市）出土の御物石器・石冠、家ノ下遺跡・塩屋金清神社遺跡（飛騨市）出土の石棒。以上、飛騨市蔵など

5 その他

会期中の令和4年1月21日から、岐阜県が新型コロナウイルス感染症対策のための「まん延防止等重点措置区域」に指定されたため、2月6日の学芸講座「縄文時代の精神世界」【講師：長田 友也（中部大学 講師）】がオンライン開催に、けんぱく教室「縄文ものづくり体験」が3月6日に延期の上、オンライン開催に、けんぱく教室「縄文土器を観察しよう」が中止と、それぞれ変更となった。



展示風景 1



展示風景 2

移動展 名前のヒミツ教えます—植物に隠された物語—

1 開催期間、会場

期間：令和3年4月10日（土）～6月6日（日）
会場：飛騨高山まちの博物館 2階 特別展示室
〒506-0844 高山市上一之町 75 番地

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館
共催：高山市教育委員会
後援：岐阜県教育委員会

3 趣旨

岐阜県博物館には、岐阜県内を歩きまわり、すべてを網羅して集められた植物標本が9万点以上あり、飛騨で採集された標本も数多く保管されている。集められた全ての標本は同定（種名を調べること）され、名前が付けられており、1つ1つの植物の名には発見者の思いや生活、感性が反映された由縁となる物語が存在している。

イブキトリカブトやハクサンフウロのように岐阜県を代表する伊吹山、白山の名が付いた植物、ヒダキセルアザミ、トウノウネコノメのように岐阜県の地名が付いた植物がある。また、スマレやハナイカダ、チングルマのように植物のからだの特徴から名づけられたものもある。

本移動展では、飛騨を中心とした岐阜県で見つけることができる数多くの植物の名前の秘密を紹介した。

4 展示構成

第1章 名前からわかる植物のすがた

(1) 形に由来する植物の名前のヒミツ

- ・チングルマ、ニョイスミレ、チャルメルソウ、フデリンドウ、ヤグルマソウ、ハナイカダ、ナギナタコウジュ、イチヨウラン、ヒトツバ

(2) 動物に由来する植物の名前のヒミツ

- ・オオカニコウモリ、シシガシラ、マムシグサ、サギソウ

(3) 似たものに由来する植物の名前のヒミツ

- ・ギンリョウソウ、ギンリョウソウモドキレブ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、ツリガネニンジン、キイトラッキョウ、イワタバコ

第2章 岐阜に因んだ名をもつ植物

(1) 飛騨で発見された植物

- ・ヒダキセルアザミの資料（長瀬氏の投稿論文（岐阜県植物研究会会誌）、ヒダキセルアザミ調査資料、飛騨植物研究会報、等）

(2) 飛騨に因んだ名をもつ植物たち

- ・ヒダボタン、ヒダフウロ、ハクサンフウロ、キヨミトリカブト

(3) 岐阜県各地の名をもつ植物たち

- ・ギフベニシダ、コイブキアザミ、イブキトリカブト、オクミノアザミ、ミノコバイモ、トウノウネコノメ、ミノシライトソウ



展示風景1

第3章 生活の中の植物の名前

(1) 飛騨で採られる山菜

- ・山菜の話（ゼンマイ、コシアブラ、タカノツメ、ワラビ、クサソテツ、ギョウジャニンニク、ウド）
- ・方言の話（コシアブラ、タカノツメ）

(2) 七草のヒミツ

- ・春の七草と秋の七草

(3) キノコにも名前がいっぱい

- ・クリタケ、シイタケ、マツタケ、スギヒラタケ、ホンシメジ、シモフリシメジ、クロカワ、コガネタケ、ムキタケ

第4章 清流の国ぎふの特徴ある植物

(1) 高山植物（クルマユリ、イワベンケイソウ、コマクサ）

(2) 日本海要素植物（ユキツバキ、キヌガサソウ）

(3) 太平洋要素植物（テバコモミジガサ、アカヤシオ）

(4) 東海丘陵要素の植物（シデコブシ、ハナノキ）



展示風景2

第5章 岐阜はスマレ王国

(1) スマレのすみわけの話

(2) 岐阜で見られるスマレたち

- ・ツボスマレ、タチツボスマレ、ナガバナタチツボスマレ、ツルタチツボスマレ、スマレサイシン、ナガバノスマレサイシン、タカネスマレ、エイザンスミレ、オオバキスマレ、スマレ

博物館・図書館連携企画展 「千磨百錬 一よみがえる赤羽刀・後篇」

1 開催期間、会場

令和3年4月24日(土)～5月23日(日)

※ 6月13日(日)まで開催予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大による岐阜市緊急事態宣言による岐阜県図書館の臨時休館のため会期を短縮

2 主催・共催

主催：岐阜県博物館、岐阜県図書館

3 趣旨

「赤羽刀」とは、第二次世界大戦後、連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)によって武装解除の一環として接収された刀剣のうち、元所有者不明のため公共博物館等に無償譲与された日本刀をいう。名称は、東京赤羽にあったアメリカ軍第八軍兵器補給廠に保管されていたことにちなむ。

岐阜県博物館は、平成11年(1999)に譲渡された全3,209点のうち168点を受領し、錆びつき、外装を失ったこれらの赤羽刀を、順次、研磨、外装(ハバキ、白鞘)制作等の整備を継続中である。

本展は、これら全48点を2回に分けて展示する後篇展示である。後篇24点においても、岐阜県博物館蔵赤羽刀コレクションによって、多様な美濃・尾張刀の世界を紹介する内容となっている。

4 展示構成

(1) 赤羽刀について解説

パネル：赤羽刀についての解説、赤羽刀の整備事業の概要説明

実物展示(未研磨の赤羽刀)：

刀 銘 相模大掾藤原泰幸／寛永拾一年十月吉日

短刀 銘 兼生

※ 整備は、接収刀剣活用検討懇談会(平成11年)により刀工の知名度や作柄によって優先順位をつけて実施。

※ 前項に加えて有識者の意見聴取によって対象を決定。

※ 当館蔵赤羽刀は関鍛冶を中心とする美濃刀工のほか、関鍛冶が移住・分派した尾張刀工を主としている。

(2) 刀剣展示

全48点のうち、以下の24点を展示。

刀 銘 兼吉

刀 銘 兼清

刀 銘 兼延

刀 銘 兼白

刀 銘 兼元
 短刀 銘 兼房
 刀 銘 尾州住兼氏
 刀 銘 美濃国住人藤原兼常助右衛門作／切付銘 江州浅井郡伊吹勘解由次官久次其子山田勘右衛門尉源家秀／奉其子三之尉作右衛門権之助三人相鎚／切付銘 長口山田源明郎家次朋慶長拾年二月吉
 脇指 銘 飛驒守藤原氏房
 脇指 銘 飛驒守藤原氏房
 槍 銘 相模守藤原政常
 刀 銘 濃州神戸住源一兼信
 刀 銘 大和守藤原国守／寛文元年八月日
 小太刀 銘 伯耆守藤原信高作／尾州名古屋南蛮以鉄二胴造之寛永元年二月日
 脇指 銘 丹波守藤原照門／寛文十年二月吉日
 刀 銘 越中守藤原貞幸
 脇指 銘 大和守源康道
 刀 銘 相模守藤原泰幸
 薙刀 銘 対馬守藤原貞重
 脇指 銘 (葵紋) 康継於越前作之
 脇指 銘 青木照之進元長／文化十一年二月吉日
 刀 銘 奥州會津住道辰／文政六未年二月吉日於尾州犬山作之
 刀 銘 美濃國住人藤原永貞／文久四歳二月於東都作之
 刀 無銘

5 関連行事

(1) 講演会「熱田神宮の刀剣」

講師：福井款彦(熱田神宮文化研究員)

日時：令和3年5月29日(土) 13:30～15:00

会場：岐阜県博物館 マイ・ミュージアム棟3階 けんぱくホール

定員：65名(先着順)

※ 上記を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止



展示室のようす

1 開催期間

令和3年10月29日（金）～12月24日（金）

2 主催、共催、協力

主催：岐阜県博物館

共催：岐阜大学

協力：徳川広和（株式会社 ActoW / 古生物復元模型作家）

岐阜大学学術アーカイブズ企画運営室

3 趣旨

古生物復元模型作家（パレオアーティスト）の徳川広和氏は、恐竜をはじめとする古生物の復元模型を多数制作している。同氏の作品は博物館などの展示資料としてだけでなく、国内外の学術集会や研究発表でも展示・活用されており、その専門性の高さがうかがえる。最新の研究成果をもとに制作された復元模型には、骨格や筋肉、皮膚、色、息遣いなどの徹底的な「リアル」が追求されている。復元模型からは、立体的に具現化された絶滅動物の生き生きとした姿を垣間見ることができるだけでなく、芸術作品（アート）としての技術や価値も見てとれ、多方面にわたり作品を楽しむことができる。

本展示では、同氏が制作した作品に関して、恐竜復元模型を中心に展示するとともに、復元模型の制作過程や制作された恐竜の解説をパネル展示で行う。また岐阜県博物館が所蔵する化石標本を制作物と関連付けて展示・紹介した。

4 展示構成

(1) 復元模型の製作

古生物復元模型作家の徳川広和氏の経歴や復元模型の製作方法についてパネル等を用いて紹介した。

【主な展示物】

学会発表使用後のポスター

(2) 恐竜復元模型

恐竜の復元模型を主な分類群ごとに区分し、パネルとともに展示・紹介した。

【主な展示物】

ティラノサウルスやジラファティタン、ステイラコサウルス、アンキロサウルスなどの復元模型

(3) 古生物復元模型

その他の絶滅動物の復元模型を主な分類群ごとに区分し、パネルとともに展示・紹介した。

【主な展示物】

ディモルフォドンやランフォリンクス、タラソメドン、ゴンフォテリウムの復元模型

(4) 化石標本

岐阜県博物館が所蔵する恐竜・古生物の化石標本を展示・紹介した。

【主な展示物】

アリオラムスの頭骨やステゴサウルスの骨板、ゴンフォテリウムの上顎骨など

5 関連事業

(1) けんぱく教室「恐竜を造ろう」

日時：11月23日（火・祝）10:00～12:00

講師：徳川広和（古生物復元模型作家）

(2) けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」

日時：11月23日（火・祝）13:30～15:30

講師：徳川広和（古生物復元模型作家）



展示会場の様子（復元模型を展示した展示ケース）



展示ケース内のティラノサウルスの復元模型

博物館・岐阜県歴史資料館・岐阜県図書館連携企画展 「今よみがえる近世の庄屋 ～花村家のくらしをたどる～」

1 開催期間

令和4年1月22日（土）～3月6日（日）

2 主催、共催

主催：岐阜県図書館

共催：岐阜県歴史資料館・岐阜県図書館

3 趣旨

花村家は、江戸時代中期より代々にわたって庄屋を務めており、本郷村の開発百姓として村の中心的存在だった。

百姓でありながら、御目見得や帯刀を許可されるほど有力な百姓だった花村家が用いた生活道具の中には、廃絶した仏事用具や優れた陶磁器などを含む。

そのような道具類や花村家に関する記録史料の一部の展示を通して、本郷村における庄屋としての功績や暮らしぶりをふり返るとともに、近世のむらの庄屋の生活の一端を紹介する展示である。

4 展示構成

(1) 葉栗郡本郷村とは

パネル展示（地図、村についての説明）

(2) 庄屋とは・花村家の紹介

- ・パネル展示（庄屋の説明）
- ・玄関幕、提灯、陣羽織、陣笠、袴、紋付羽織（いずれも家紋入り）二十八日講幕、
- ・花村家がいかに有力であったのかを示す史料
例・切紙（庄屋役申付）
 - ・北方陣屋より庄屋役を申し付けられた旨が記された史料
 - ・名字帯刀免許
名字帯刀を許され、以後藩主への御礼の節は独礼とすることを許されたことを示す史料

(3) 本郷村における花村家の功績

- ・花村家の本郷村での役割と功績を示す史料
例 花村家の地主としての土地経営に関する史料
明治17年～29年の水害関係の史料
輪中の水害と村の対応についてのことや「救助記録」
岐阜県から送られた「盃と感謝状（本郷尋常小学校〔現羽島市立福寿小学校〕の寄付の返礼）
メダル（大禮記念章・国勢調査記念）

(4) 花村家が使った道具たち（やきもの、生活道具）

- ・肥前（有田）有田焼、美濃焼、記念品、香炉等
書籍、教科書類



<展示の風景1>



<展示の風景2>



<展示の風景3>

マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	西美濃の書画家展 出展者 益田 靖夫 令和3年4月10日(土) ～5月16日(日) 観覧者数: 2,144人	益田氏がいまから40年ほど前に、ご両親から受け取った掛け軸の中に幕末の彦根藩(滋賀県)の家老であった岡本黄石の書画があったことがきっかけで、書画に縁を感じ収集するようになった掛け軸や巻物を400点ほど所蔵しています。 今回は特に、地元である岐阜県の西濃地方を中心に、岐阜県にゆかりのある書画家(大橋翠石・野原櫻州など)の作品が展示された。	
2	懐かしのビン・コレクション再び 出展者 山田 正利 令和3年6月5日(土) ～7月18日(日) 観覧者数: 2,552人	山田氏がいまから22年前に、行きつけの骨董屋の主人から戦前の珍しい形のビンを見せられたことがきっかけでガラスビンを集集し、これまでに収集したコレクション数は1,000点以上になります。 今回は日常生活で使用されてきた、飲料ビン(牛乳・清涼飲料・滋養飲料)や調味料ビン(ソースやケチャップなど)・薬ビン(目薬や錠剤など)を中心に約700点が展示された。	
3	プラモデル作品コレクション 出展者 岐阜コクピット 令和3年7月31日(土) ～9月5日(日)※ 観覧者数: 4,099人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 7月31日(土)～8月26日(木)までに会期を変更	岐阜コクピットは、岐阜市や各務原市を中心としたプラモデルが好きな人が集まり、45年程前に結成された組織です。ただプラモデルを完成させるだけでなく、色を塗り、写真や図面を参考に手を加えたりと、オリジナリティのある作品を多く所蔵しています。 今回は、会員の皆様が長年にわたり作り溜めた作品(飛行機・船・車・アニメキャラクターなど)が展示された。	
4	みんな描けちゃう絵画教室作品展 絵手紙・水彩画・パステル画・油彩画 出展者 横山 寿美子 令和3年9月18日(土)※ ～10月17日(日) 観覧者数: 1,576人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 10月1日(金)～10月17日(日)までに会期を変更	横山氏と同氏が講師を務める、絵画教室の生徒の皆さんの作品が展示された。展示品は、ただ描かれているのではなく、描かれている作品に言葉(詩)が入っているのが特徴。どこ言葉も人々の気持ちを明るく、前向きにさせることのできる製作者の人柄が現れる作品ばかりであった。 また、横山氏の実体験が綴られた作品を展示され、共感された観覧者も多かった。	
5	染織のいろ —美濃友禪の世界— 出展者 河村 尚江 令和3年10月30日(土) ～12月5日(日) 観覧者数: 4,148人	美濃友禪は出展者の河村氏が、織物の歴史ある美濃の地において友禪技法に鮮やかな色彩を用いた独自の抽象表現を取り入れ立ち上げたもの。 河村氏の作品は色彩が非常に豊富なため、作品を直接に見なければ、色の持つ力を感じることができないのが特徴。 また染色する絹素材の違いによる発色や風合いの差も見て頂き、染色に用いる道具なども展示された。	
6	収集30年の時 揖斐川石と世界に誇る根尾川菊花石 出展者 細野 孝雄 令和3年12月18日(土) ～令和4年1月23日(日) 観覧者数: 1,452人	細野氏が30年以上前に、地元が日本三大銘石の産地だと知り、川でたくさん石を見ていたうちに、気がつくやイノシシと似た十二支の形に見える石、恐竜の顔に見える石など、形・質・色・肌合い模様などの個性豊かな石の魅力に惹かれ収集してきた揖斐川石と、世界的に見ても大変珍しい石である菊花石と合わせて約150点が展示された。	
7	自分の可能性に向かって挑戦できる学校 岐阜城北高校の“魅力” 出展者 岐阜城北高校 令和4年2月5日(土) ～2月27日(日) 観覧者数: 1,398人	校訓「至誠・進取・錬磨」のもと、全校生徒約650名が高い目標をもち、学科に関する資格取得やコンクールへの挑戦をしています。 今回の展示では、総合学科・生活デザイン科の成果物(衣装・布絵本、研究レポート、芸術作品など)をはじめ、部活動、学校行事などの写真を展示。	

2 出展者による催し物等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が主催者となった催し物を開催した。

(1) 第4回展示

- ・けんぱく教室「驚きの水彩画」

日時：令和3年10月17日（日）

11:00～12:00～13:00～

講師：横山寿美子

会場：マイミュージアムギャラリー展示室



(2) 第5回展示

- ・けんぱく教室「染色体験」

日時：令和3年11月3日（日・祝）

10:30～13:30～

講師：河村尚江

会場：講堂



・以下の催し物は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

(3) 第7回展示

- ・飛び出すカード作り
- ・マクラメストラップ作り
- ・タオルDEケーキ

日時：令和4年2月5日（土）

13:00～15:00

主催：岐阜城北高等学校

会場：マイミュージアムギャラリー展示室

- ・アルコールインクアート体験

日時：令和4年2月13日（日）

9:00～12:00

主催：岐阜城北高等学校

会場：マイミュージアムギャラリー展示室

- ・缶バッジ作り

日時：令和4年2月13日（日）

13:00～15:00

主催：岐阜城北高等学校

会場：マイミュージアムギャラリー展示室

6 調査研究活動

〔調査研究〕

(1) 人文部門

①考古分野

ア 展示にかかわる調査研究

令和3年度企画展「岐阜の縄文世界」及び令和4年度特別展（考古分野・予定）の開催に向け、調査研究を行った。

企画展「岐阜の縄文世界」は、展示構成を途中で変更したため、それに対応する資料調査等を行った。

令和4年度特別展に向けては、発掘調査報告書の精査等を行い、展示テーマ及び構成の検討を行った。

②歴史分野

ア 特別展等にかかわる調査研究

令和3年度に開催された美術工芸分野特別展「薩摩の陶と刀」に関連して、「岐阜・鹿児島交流紹介コーナー」を企画展示室内に設け、岐阜・鹿児島（美濃・薩摩）の繋がりを示す「島津の退き口」・「宝暦治水」とその関連史跡、現在に至るまでの交流事業について展示パネルで示した。また、両県交流事業の一環である「鹿児島城（鶴丸城）御楼門復元事業」についても亀山建設株式会社の協力の下で紹介した。

翌年度以降の展示に向けて関連資料の調査を行い、今後の調査研究及び展示の方向性を検討した。

イ 常設展にかかわる調査研究

4月～6月にかけて、特別展示室にてミニ企画展「道を生んだもの、道が生んだもの」を開催した。このミニ企画展では、当館所蔵資料とパネルによる解説を通じて、信仰との関連で発展した郡上街道・谷汲街道や、飛騨の街道の整備によって発展した町や村の様子などを紹介した。加えて、この展示に並行して昨年度～今年度の新規収蔵資料についても展示・紹介を行った。

③民俗分野

ア 特別展等にかかわる調査研究

(1) 博物館・歴史資料館・図書館連携企画展「今よみがえる近世の庄屋～花村家のくらしをたどる～」(2022/1/22-3/6)

羽島の庄屋 花村家の生活道具や歴史資料館が保有している史料計48点を、県図書館において展示した。

(2) 令和5年度特別展「岐阜の祭り（仮）」の準備

岐阜県における祭りに関する展示の企画立案を行い、各地で出品交渉を行う等、調査を進めている。

イ 常設展示にかかわる調査研究

人文展示室内における民俗分野の箇所、「はかりの変遷」の研究を行い、展示した。

また、昭和の居間ジオラマにつき季節ごとの展示替えを行うとともに、以下の通り各コーナーでミニ企画展示を実施した。

(3) 昭和の居間コーナー

第1期：令和3年 6月 1日（火）～ 9月30日（木）

第2期：令和3年10月 1日（金）～11月26日（金）

第3期：令和3年11月30日（火）～ 3月18日（金）

(4) 昭和の居間前のケース

「オリンピック関連の切手」・「雑誌の伝える昭和の災害」
「わら細工」・「和傘のできるまで」

(5) 人文展示室前ロビー

「鶴飼の道具」・「和傘・提灯」
「消防ポンプ、龍吐水」・「わらの細工」
「和傘 パート2」

ウ 旧徳山村民家（旧宮川家住宅）整備

国登録有形文化財（建造物）・旧宮川家住宅主屋について、国庫補助を活用し、令和元年度より整備事業を実施している。今年度は、4年度に実施予定の耐震補強工事の基本・実施設計を行い、実施設計書、実施設計図を作成した。

次年度は実施設計図を基づく耐震補強工事の施工、防災防犯設備の設計を予定している。また、屋根の養生シートが破れたり、シートの剥がれなどが発生したりして、養生を改めて行った。

④美術工芸分野

ア 特別展等にかかわる調査研究

特別展「薩摩の陶と刀」開催のため調査研究を行い、その成果を図録や展示パネルなどとして示した。

イ 連携展、常設展にかかわる調査研究

収蔵資料や地域の文化財については常に継続して調査をおこなっている。その成果を披露する場の一つとして常設展がある。収蔵資料の魅力を一層引き出すべく、全国的な位置づけや、従来とは異なる視点によって以下のとおり実施、企画した。

・オリンピックとデザイン

・つながる、ひろがる錦絵展（令和4年度開催予定）

(2) 自然部門

①動物分野

ア 主な研究テーマ

(ア) 里地里山に生息する動物の生態について

(イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物館標本商について

イ 原著論文等

遠藤弘志・笠井初志・宮崎弘規・大和田守・説田健一・
2022. 岐阜県大野郡白川村白山山麓の蛾類. 岐阜県博物館調査研究報告 42:1-62.

ウ 学会発表など

説田健一, 2021, 「棚橋源太郎」というブランドー義務教育延長という商機に向けた三省堂器械標本部の販売戦略一, 全日本博物館学会第47回研究大会, Web開催, 2021/6.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

ダチョウ組（動物標本作製サークル）、岐阜の魚

研究会、クモ研究会、モニタリングサイト 1000 里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

オ 他団体との調査活動

- (ア) ウシモツゴを守る会（ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査。岐阜県水産研究所、世界淡水魚園すいぞくかん アクア・トトぎふ、関市、美濃市、NPO 法人ふるさと自然再生研究会と共同）

②植物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生育する植物の生態について
- (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発
- (ウ) 所蔵標本データの活用方法の開発

イ 原著論文等

高橋弘・山崎玲子・箕浦博之・土屋寿美, 2021. 岐阜県のみヤマトキノウ（ラン科）. 岐阜県植物研究会誌 36:37.

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト 1000 里地調査
- (イ) 標本整理及び展示資料作成
- (ウ) タンポポ調査西日本 2020 に関わる調査活動及び結果分析

エ 他団体との調査活動

- (ア) 岐阜県植物誌調査会（岐阜県植物誌編纂関係調査、環境省レッドデータ調査）
- (イ) 岐阜県植物研究会（岐阜県内の植物の調査）
- (ウ) 岐阜県教育委員会（教師のための研修講座実施（博物館活用講座、幼稚園等新規採用教員研修））
- (エ) 岐阜大学（標本合同調査保管、展示資料開発、連携企画展の実施）

③地学・古生物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) タイ王国産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (イ) 福島県産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (ウ) 岐阜県における手取層群の脊椎動物化石調査
- (エ) 岐阜県における古生界動物化石調査
- (オ) 岐阜県における瑞浪層群の化石調査
- (カ) 長野県における来馬層群化石調査

イ 原著論文等

ウ 学会発表など

植松里菜・田中康平・高津翔平・伊左治鎮司・下島志津夫, 2021. 岐阜県高山市荘川町から産出したカメ類・恐竜類の卵殻化石. 日本古生物学会第 2021 年年会, web 開催, 2021/7.

福島佑一・高津翔平・小田隆・上松佐知子, 2022. “日本最古の化石” オルドビス紀コノドントの動物像復元. 日本古生物学会第 171 回例会, web 開催, 2022/2.

熊澤忍, 2022, 防災を展示する. 全国科学博物館協会第 29 回研究発表大会, web 開催, 2022/2.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) 県内外産化石クリーニング作業（ジオグループ）
- (イ) 県内の化石産地における化石採集
- (ウ) 収蔵化石標本の整理

オ 他団体との調査活動

- (ア) 筑波大学との古生物学的共同研究
- (イ) タイ国鉱産資源局地質調査所（DMR: Department of Mineral Resources of Thailand）との古生物学的共同研究
- (ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査
- (エ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館及び東京都都市大学との古生物学的共同研究

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム系の業務には、以下のマイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務がある。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイミュージアムギャラリー（マイ・ミュージアム棟 2 階・展示室）で「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体（法人等）」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

マイ・ミュージアム業務には、岐阜県博物館収蔵資料データベースに係る業務、当該データベースのデジタルコンテンツ拡充・インターネット公開に係る業務（ホームページ運用を含む）、並びにけんぱくホール活用業務があり、ほかに岐阜県博物館の全県展開事業における民間商業施設連携事業を実施している。

①マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変すばらしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして次年度の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

・日時 令和 3 年 12 月 15 日（金）13：30～15：00

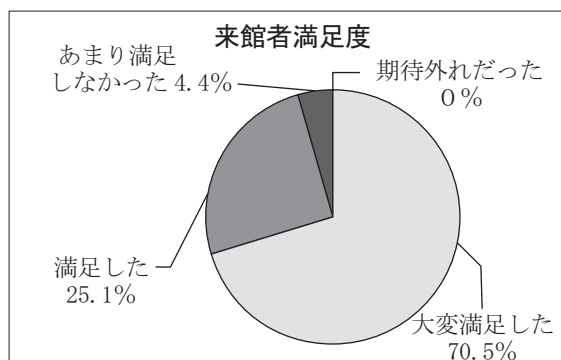
・場所 マイ・ミュージアム棟 3 階 けんぱくホール

ウ 展示記録「マイ・コレクション」（展示紹介チラシ）の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。令和3年度は平成7年度からの通番で、第190号から第196号までを発行した。

エ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。



【図1 観覧者の満足度（令和3年度4月～3月）】

また、図1に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものとする。

更に、出展者への意識調査では、高い満足度を得ていることが分かった。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものといえる。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。

また、平成24年度に出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品のキャプションや説明文の記述方法についての研究を行った。その結果を令和3年度も展示会に活かしたところ、読み手の読解方略を体系的で利用しやすいキャプションで示すことができた。こういった研究も含め今後も出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。

オ 令和4年度の出展申し込み

令和4年度出展候補として申込は10件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

また、平成27年度から公共施設が行うマイミュージアムギャラリーへの移動博物館展示や高校生以下の部活動等による成果発表の場によるU-18ミュージアム

を実施している。

カ 令和4年度展示計画及び今後の課題

令和4年度出展候補10件についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き7件の展示を決定した。また、年間をとおしての展示内容のバランスや本館展示との連携を考えて、コレクションを中心とする出展希望の更なる充実を図ることが今後の課題である。

【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏名	所属等
浅野 裕司	岐阜県博物館元館長
岩井 弘栄	民間有識者
遠藤真理子	関市協働推進部文化課課長 兼 関市文化会館館長
加藤誉使子	民間有識者
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議会長
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

(五十音順 敬称略)

②マイ・ミュージアムについて

マルチメディアとは、文字・動画・静止画・音声・グラフィックスなど、多様な表現を統合的に用いる情報媒体の謂いで、マイ・ミュージアム棟開設（1995）当初はそれら複合情報媒体を自ら制作編集できるマルチメディア工房は先進的な試みであったが、複数メディアの併用編集が常識的機能となった現在、その普及啓発の意義が薄れてきたといえ、工房としての利用・稼働を休止している。

現在の岐阜県博物館におけるマイ・ミュージアム事業は、既存の情報通信機器・システムを活用し、デジタルコンテンツを作成・発信することとし、収蔵品データベースの拡充やホームページ等の改善・整備にシフトした業務を行っている。

ア 収蔵品データベースの運用

岐阜県博物館では、平成21年度末、全国の博物館・美術館でサーバを共有するクラウドサービス（I. B. MUSEUM SaaS）に収蔵品データを移行し、平成23年度に一部データのインターネット公開を含めた収蔵品データベースの本格的な運用を開始した。

現在は出入庫記録をもとに現物実査を実施し、格納データを拡充・精緻化しつつ、データベースにより収蔵品を一元管理し、備品登録と収蔵資料との整合性を担保している。

この当該データベースからは一部データを公開用として活用し、公開サイト（検索システム、平成27年度より運用、551件）と「ポケット学芸員」（音声ガイド、令和元年度より運用、60件・うち新規14件）をインターネット経由で広く利用できる仕組みを取り入れ、双方ともに順次公開コンテンツを拡充しているところである。

とくに「ポケット学芸員」は、2019年冬以降、2022年冬現在、未だ続くコロナ禍中の感染予防対策として来館者の自前スマホ・タブレットから利用できること

から他館の活用も増えているとのことである。館外からの閲覧の際も臨場感を持ってもらえるよう、3年度は展示室の写真を追加した。このように、主な利用法として想定されている音声ガイドだけでなく、今後は外国語テキストの解説文テキスト表示や常設展示以外でも企画展・特別展等、さまざまな活用が見込まれると考えている。

イ けんぱくホールの活用

けんぱくホールは、団体利用等の利用に供するほか、「博物館学芸講座」（次項に詳述）の会場として活用している。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示物関連の動画を上映する「ミュージアムシアター」は令和3年度より休止し、ホール定員120人のところ半数の65人で運用している。

(ア) 博物館学芸講座について

「博物館学芸講座」は平成29年度より開始した事業で、県民の歴史・芸術・民俗・産業・自然科学等に対する知的好奇心を喚起し、文化振興に寄与することを目的として実施する岐阜県博物館の講演会シリーズである。当館学芸員のほか外部の有識者が講師を務め、岐阜県及び当館事業（特別展・企画展・常設展示など催事）に関連するテーマやその最新学術情報等を取り上げる。毎年、年間8～14回開催しており、令和3年度は11回（番外含む）実施した。

なお、令和2年度に続き、3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から定員を半減し、非常事態宣言発出やまん延防止等重点措置区域指定に伴い、やむを得ず一部の講演会を中止した。

令和3年度実施分は次の一覧の通りである。なお、表中2・3・9・10回は2年度からの延期分であり、第3回は元年度の台風に伴う臨時休館による中止から3回目の延期実施がなかったが、第2回は再度の中止となってしまった。

博物館学芸講座一覧（令和3年度実施分）

	実施日	実施状況	演題	講師（所属等）
1	4/25日		ライチョウ保全の最前線から	小林 篤（環境省信越自然環境事務所生息地保護連携専門官）
2	4/29木祝	中止	オリンピックのデザイン：東京オリンピックを中心に	暮沢 剛巳（美術・デザイン評論家、東京工科大学デザイン学部教授）
3	6/27日		岐阜県植物誌から浮かんだ岐阜県を特徴づける植物	高橋 弘（岐阜大学名誉教授、岐阜県植物誌調査会会長）
4	7/18日	延期：10/24日	スーパーカミオカンデで探る素粒子と宇宙	中畑 雅行（東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設長）
5	7/24土		ミュージアムめぐりの極意：博物館の「中の人」が教えます	杉本 竜（桑名市博物館館長）
6	8/9月振	延期：11/7日	クビナガリュウの見た世界	加藤 太一（ミュージアムパーク茨城県自然博物館学芸員）
	8/28土	延期：11/13土	岐阜と鹿児島との絆：鶴丸城御楼門復元事業	亀山 義比古（亀山建設株式会社会長）
7	9/20月祝	オンライン	豊臣政権における「奉行衆」	谷 徹也（立命館大学准教授）
8	9/23木祝	延期：11/20土	旧徳山村ものがたり：ダム水没村の民俗世界	田中 宣一（成城大学名誉教授）
9	12/5日		岐阜の見世物稼業 安田里美と安田興行社	鶴飼 正樹（京都文教大学教授、見世物学会理事）
10	2/6日	オンライン	縄文時代の精神世界	長田 友也（中部大学講師）

(イ) ミュージアムシアターについて

けんぱくホールで毎週日曜日、来館者に郷土や人文・自然科学への興味関心・理解を深め、その魅力を発信することを目的に、岐阜県の伝統工芸や祭礼、自然環境、恐竜など、岐阜県博物館の展覧会や展示物に関連する映像を上映している。

令和2・3年度に続き、4年度も、非常事態宣言発出やまん延防止等重点措置区域指定に伴い、全県的な新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとして催事を中止した。

(ウ) 民間商業施設連携（全県展開事業）

岐阜県博物館では、平成 29 年度より全県域へのアウトリーチ活動（全県展開事業）を実施しており、その一環として、美濃地域の民間商業施設との連携事業を実施している。

具体的には、モレラ岐阜（本巣市）、カラフルタウン岐阜（岐阜市）、マーサ 2 1（岐阜市）、マーゴ（関市）の 4 施設で出張けんぱく教室（ワークショップ）や移

動博物館・サテライト展示を実施しており、このうちマーサ 2 1 とマーゴには当館ポスター・チラシの常設コーナーを設置していただいている（前者は 2022 年 2 月現在店舗改装のため一時撤去中）。

令和 3 年度はイオンモール各務原（各務原市）でも新たに連携事業を開始した。

令和 3 年度実施分は次の一覧の通りである。

民間商業施設連携事業一覧（令和 3 年度実施分）

施設	種別	催事・内容	期日	実施状況
モレラ岐阜(本巣市)	クイズラリー	薩摩の陶と刀	3月～9月	—
		今日から防災！	10月～1月	—
		岐阜の縄文世界	2月～4月	—
	移動博物館	恐竜ミニ展示 in モレラ岐阜 2021	7/30 金～8/30 月	—
	出張けんぱく教室	モレランド 2021：化石レプリカづくり	8/6 金	176 人
	その他	キッズクラブ来館ツアー		中止
カラフルタウン岐阜(岐阜市)	出張けんぱく教室	化石レプリカづくり	4/18 日	195 人
		恐竜足跡化石産地の VR 体験	7/31 土	123 人
	移動博物館	ぎふけんぱく × カラフルタウン岐阜「ミニ恐竜展」	7/24 土～8/1 日	—
マーサ 2 1 (岐阜市)	パネルミュージアム ※店舗改装のため一時撤去(12月～)	ぎふの鳥ライチョウ	4/25 日～6/29 火	—
		薩摩の陶と刀	6/30 水～9/16 木	—
		今日から防災！	10/19 火～12/13 月	—
		岐阜の縄文世界	12月～3月	改装中・撤去
		MMG 令和 4 年度ラインナップ	3月～4月	改装中・撤去
	サテライト展示	MMG コレクション展プラモデル作品	7/30 金～8/29 日	—
		MMG みんな描けちゃう絵画教室作品展	9/17 金～10/18 月	—
	出張けんぱく教室	恐竜足跡化石産地の VR 体験	5/9 日	中止
		つくってあそぼう！むかしのおもちゃ（紙つばめ、機関車笛）	7/3 土	117 人
	その他	スタンプ（ワード）ラリー	10/30 土～11/28 日	中止
キッズクラブ来館ツアー			中止	
マーゴ（関市）	サテライト展示	プラモデル作品コレクション展	7/31 土～9/4 土	—
		みんな知ってる？岐阜の花	1/11 火～27 木	—
イオンモール各務原(各務原市)	サテライト展示	トラのなかま	3/18 金～4/4 月	—
	出張けんぱく教室	化石レプリカづくり	9/18 土	中止
			12/4 土	171 人
			3/21 月祝	179 人
その他	イオンモールアプリ（クーポン提供）	12月～	—	

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数（令和4年3月31日現在）

①人文分野

分野	資料数(件)
考古	461
歴史	1,411
民俗	1,649
美術工芸	1,326
合計	4,847

②自然分野

分野	資料数(件)
動物	43,725
植物	91,231
岩石鉱物	2,163
化石	1,932
合計	139,051

(2) 令和3年度寄贈資料一覧

①人文分野

寄贈資料名	件数
羽柴秀長禁制札	1
徳川家康禁制札	1

②自然分野

資料名	件数
荘川産卵殻化石	3
大白川産爬虫類歯化石のレプリカー一式	1
スピノサウルスの下顎骨	1
ナウマンゾウの下顎骨	1
美濃柴	1
シロマダラ	1
シロハラ	1
植物標本	7
ハナノキ標本	2
福德岡ノ場噴火による軽石	1
植物スライド	1
野生化した観賞用メダカ	1
ハナバチ類の標本	8
岩石資料	1

(3) 令和3年度購入資料一覧

①人文分野

購入資料名	点数
歌川国芳 甲越川中島大合戦	1
歌川国芳 源三位頼政鶴退治	1
歌川国芳 稲葉山中において荒猪を生捕たる強勇を大将の目にとまり臣下とす	1
月岡芳年 和漢獣物大合戦之図	1
月岡芳年 太功記の内 高松水攻	1
歌川芳員 頼光山中二妖怪を見る図	1
歌川芳員 京都四條繩手合戦	1
歌川国綱 (佐藤正清)	1
歌川芳幾 猿蟹敵討之図	1

②自然分野

購入資料名	点数
シカマイアの復元模型	1
恐竜化石レプリカ標本	12
恐竜化石レプリカ標本	4
アミメニシキヘビ頭骨標本	1
ミズオオトカゲ頭骨標本	1
カナダカワウソ頭骨標本	1
イヌ (パグ) 頭骨標本	1
ヒト頭骨レプリカ標本	1
ホトトギス本剥製標本	1
植物レプリカ標本	2
コマクサレプリカ標本	1
タコノアシレプリカ標本	1
横ずれ断層模型	1

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催し物開催状況

催し物(館内)は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室」(子ども・家族向け)、「講演会」(大人向け:「特別展・企画展講演会」「博物館学芸講座」、三重県総合博物

館(MieMu)との交流企画)を、各係が担当して館内、館外において実施した。三重県総合博物館(MieMu)との交流企画では、三重県総合博物館からは自然分野、岐阜県博物館からは人文分野の講師を相互に1名ずつ派遣して講演会を開催することを計画していたが、コロナウィルスの感染のまん延防止措置のため、岐阜県博物館からの派遣講演は中止となった。

<催し物開催状況一覧>

事業名	月	日	曜日	定員	参加	事業名	会場(館外)
けんぱく教室	4	17	土	15	中止	百年公園で春を見つけよう	百年公園
	5	3	月祝	20	中止	笛をつくって遊ぼう	
	5	5	水祝	25	中止	恐竜を造ろう	
	5	5	水祝	25	中止	恐竜を組み立てよう	
	5	15	土	80	中止	スプリングフェスティバル 化石レプリカづくり体験	
	5	16	日	80	中止	スプリングフェスティバル 化石レプリカづくり体験	
	5	30	日	5×2	中止	収蔵庫探検 ー自然史標本の役割を知るー	
	6	6	日	20	中止	キビタキのさえずりを聞こう	
	7	4	日	10	8	和紙の国岐阜 和紙漉き体験	
	10	17	日	10×3	30	驚きの水彩画	
	10	30	土	15	9	morinos 連携企画 百年公園で秋を見つけよう	百年公園
	10	31	日	5×2	11	収蔵庫探検 ー自然史標本の役割を知るー	
	11	3	水祝	15×2	39	染色体験	
	11	20	土	80	200	百年公園わくわくWeek 化石レプリカづくり体験	百年公園
	11	21	日	20	14	X'mas リースづくり	
	11	23	火祝	25	25	恐竜を造ろう	
	11	23	火祝	25	25	恐竜を組み立てよう	
	12	18	土	50	47	クリスマスナイトミュージアム	
	1	7	木		中止	七草がゆを食べよう	
	1	7	木		中止	ちょっと昔の正月遊び	
1	16	日	5×2	9	収蔵庫探検 ー自然史標本の役割を知るー		
2	20	日	6組	中止	縄文土器を観察しよう		
3	6	日	20	8	縄文ものづくり体験 ーアングイン編をやってみようー	オンライン開催	
3	20	日	20	11	春のチョウを観察しよう	百年公園	
学芸講座	4	25	日	65	43	学芸講座「ライチョウ保全の最前線から」	
	4	29	日	65	中止	学芸講座「オリンピックのデザイン - 東京オリンピックを中心に -」	
	6	27	日	65	50	学芸講座「岐阜県植物誌から浮かんだ岐阜県を特徴づける植物」	
	7	24	土	65	32	学芸講座「ミュージアムめぐりの極意 博物館の「中の人」が教えます」	
	9	20	月祝	65	27	学芸講座「豊臣政権における「奉行衆」	オンライン開催
	10	24	日	65	47	学芸講座「スーパーカミオカンデで探る素粒子と宇宙」	
	11	7	日	65	51	学芸講座「クビナガリュウの見た世界」	
	11	13	土	65	49	岐阜県・鹿児島県姉妹県盟約50周年記念講演会「岐阜と鹿児島の間 鶴丸城御楼門復元事業」	
	11	20	土	65	26	学芸講座「旧徳山村ものがたり ダム水没村の民俗世界」	
	12	5	日	65	18	学芸講座「岐阜の見世物稼業 安田里美と安田興行社」	
2	6	日	65	50	学芸講座「縄文時代の精神世界」	オンライン開催	
関連講演会	5	29	土	65	中止	連携展関連講演会「熱田神宮の刀剣」	
	6	20	日	65	中止	企画展関連講演会「岐阜県民は県の鳥「ライチョウ」が嫌いなのか？」	
	8	1	日	65	41	特別展関連講演会「薩摩焼について 特色とみどころ」	
	9	5	日	65	20	特別展関連講演会「さつまの刀 波平の歴史と魅力」	オンライン開催
	10	9	土	65	50	特別展関連講演会「火山噴火の防災と予知 -2014年御岳山噴火惨事を繰り返さないために-	
11	27	土	65	32	特別展関連講演会「震災の記憶と教訓」		
交流企画	10	23	土	65	40	三重県総合博物館交流企画「三重県を東西に走る中央構造線の活動史」	

けんぱく教室	13回	436名	関連講演会	4回	143名
学芸講座	10回	393名	交流企画	1回	40名
合計	28回		人数		1,012名

②わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、主に第2・第4日曜日に開催している。新型コロナウイルス感染防止のための中止などもあった。昨年度から体験場所を研修室から講堂とし、6組×4回の入れ替え制で会場内の人数が多くなりすぎないようにした。体験メニューは「化石取り出し体験」「化石レプリカづくり」「どんぐり標本箱づくり」「ものづくり体験」の4つを主に実施した。「ずぼんぼ」を新しいメニューとして開発した。

<わくわく体験コーナー>

実施回数	参加人数	実施メニュー
12回	889人	化石取り出し体験、化石レプリカづくり、どんぐり標本箱づくり、ものづくり体験

③展示解説

常設展解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。今年度は、新型コロナウイルス感染対策として、1回の人数を15名程度など、人数制限を設けて実施した。テーマは「恐竜の話」・「合掌造りの話」・「鵜飼の話」・「輪中の話」・「大昔の人々のくらしの話」・「岐阜の大地の成り立ちの話」があり、時期や来館者の様子に応じて内容を選択して実施した。特別展・企画展解説（ギャラリートーク）については、新型コロナウイルス感染防止のため、昨年度に引き続き、今年度も実施を見送った。

<展示解説>

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	275回	1,585人	解説員による常設展示解説
特別展・企画展	0	0	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）

④団体利用

新型コロナウイルス感染の拡大状況から、予約していてもキャンセルしたり、校外行事を見送る判断をしたりする学校団体があった。市町村教委単位での一括の判断に従ったり、学校独自の判断で中止や計画の変更をしたりする事例があった。

感染防止のため、入館時の検温と消毒を実施した。解説員による「恐竜の話」についても、一度にメインホールで聞くことができる人数を40人（1クラス相当）までとした。さらには、かつては雨天時の昼食場所として講堂などを開放していたが、建物内については、基本的に食事場所を提供しなかった。代わりにピロティについては学校判断で使用可とした。

学習活動では、生活科との関連を図った「秋みつけ」を博物館サポーターの協力を得ながら実施する一方、「どんぐり工作」などの制作体験活動については、場所提供のみとした。展示では、自然展示室1・2を活用したワークシートを主に実施した。中学校の利用については、自由見学に加え、学芸員による特別展の展示解説や博物館授業を、複数回に分けることで、1回に集まる人数を制限するなど、コロナへの感染防止対策を取りながら実施した。

団体利用説明会で紹介した化石レプリカづくりの体験メニューが好評で、例年に比べて多くの学校団体が採用し、楽しんでもらった。

<団体利用>

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
4	24	土	関市	岐阜県警察学校	初任科生	100	展示解説（恐竜の話）・自由見学
5	7	金	関市	関市立金竜小学校	小3	133	里山オリエンテーリング
6	10	木	可児市	かわい幼稚園	年中	31	展示解説（恐竜の話）・自由見学
6	11	金	美濃市	美濃ふたばこども園	年長	30	展示解説（恐竜の話）・自由見学
6	24	木	本巣市	本巣市立根尾小学校	全校	35	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
6	24	木	御嵩町	可児市御嵩町組合立共和中学校	中1	60	展示解説（恐竜の話）・企画展解説・里山オリエンテーリング
6	29	火	稲沢市	稲沢市立小正小学校	小3	77	展示解説（恐竜の話）・展示セルフガイド
7	15	木	可児市	かわい幼稚園	年長	33	展示解説（恐竜の話）・自由見学
7	25	日	揖斐郡大野町	大野慈童園	小	2	自由見学
7	27	火	美濃加茂市	放課後等デイサービス虹色キラリ	小・中	20	自由見学
8	1	日	岐阜市	県高等学校文化連盟自然科学部会	高	24	展示解説・自由見学
8	3	火	関市	関市中央公民館親子講座	小 一般	20	展示解説（恐竜の話）・化石レプリカづくり
8	6	金	岐阜市	県高等学校文化連盟自然科学部会	高	25	館内見学
8	11	水	本巣市	放課後等デイサービス グローイングさくら	小	6	自由見学
8	17	火	関市	キッズステーション あおぞら茶見	小	15	自由見学
10	6	水	関市	関市立上之保小学校	小1・2	9	展示セルフガイド・化石レプリカづくり
10	7	木	一宮市	一宮市立大和南小学校	小3	58	展示解説（恐竜の話）・組みひもづくり・展示セルフガイド 秋みつけ

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
10	8	金	川辺町	川辺町立川辺西小学校	小5	42	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・特別展見学
10	8	金	本巢市	本巢市立糸貫東幼稚園	年長	46	展示解説(恐竜の話)・自由見学
10	12	火	関市	関市立田原小学校	小1	53	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
10	12	火	美濃市	美濃市立藍見小学校	小2	21	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
10	13	水	関市	関市立南ヶ丘小学校	小1・2	28	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	13	水	関市	関市立瀬尻小学校	小1	64	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	13	水	稲沢市	稲沢市立稲沢東小学校	小2	147	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
10	14	木	多治見市	多治見市立滝呂小学校	小3	87	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 学芸員解説(昔のくらしの話)・秋みつけ
10	14	木	関市	関市立富野小学校	小1・2	22	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
10	15	金	一宮市	一宮市立大和西小学校	小4	88	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり
10	15	金	関市	関市立博愛小学校	小1	29	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
10	15	金	郡上市	白鳥こども園	年長	24	展示解説(恐竜の話)・自由見学
10	19	火	岐阜市	県立岐阜希望が丘特別支援学校	小6	3	学芸員解説(古代美濃国飛騨国の誕生)・展示セルフガイド
10	20	水	関市	関市立板取小学校	小1・2	8	展示セルフガイド・化石取り出し体験・秋みつけ
10	20	水	関市	関市立下有知小学校	小1	64	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	20	水	大垣市	大垣市立小野小学校	小2	164	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・特別展見学
10	21	木	岐阜市	県立岐阜希望が丘特別支援学校	中1	5	自由見学
10	21	木	関市	関市立富岡小学校	小1	71	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(昆虫の話)・秋みつけ
10	21	木	関市	関市立安桜小学校	小1	71	展示セルフガイド・特別展見学・秋みつけ
10	22	金	関市	関市立武儀小学校	小1・2	37	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
10	22	金	中津川市	中津川市立苗木小学校	小4	60	展示解説(鶴鶴の話・輪中の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり
10	22	金	関市	関市立倉知小学校	小1	66	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	22	金	一宮市	ラポルトインターナショナル キンダーガーデン	年長	29	展示解説(恐竜の話)・自由見学
10	26	火	関市	関市立洞戸小学校	小1・2	27	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	26	火	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小2	69	展示解説(恐竜の話・鶴鶴の話・合掌造りの話)・秋みつけ 展示セルフガイド・化石レプリカづくり
10	26	火	岐阜市	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属幼稚園	年長	82	自由見学
10	27	水	可児市	可児市立東明小学校	小2	37	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・館内見学
10	27	水	関市	関市立桜ヶ丘小学校	小1	66	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	27	水	関市	関市立倉知小学校	小2	63	展示セルフガイド・化石レプリカづくり・秋みつけ
10	27	水	関市	関立金竜小学校	小5	69	展示セルフガイド・特別展見学
10	28	木	関市	関市立安桜小学校	小2	84	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	28	木	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小2	78	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
10	29	金	岐阜市	県教育委員会センター研修「博物館活用講座」	教員	13	展示解説(恐竜の話)・特別展見学・屋外活動
10	29	金	笠松町	笠松町立笠松小学校	小1	48	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
10	29	金	関市	関市立旭ヶ丘小学校	小1	56	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
10	29	金	岐阜市	岐阜市立常磐小学校	小4	56	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
10	29	金	関市	関市立金竜小学校	小5	69	展示セルフガイド・特別展見学
10	30	土	岐阜市	岐阜聖徳学園大学	大学生	12	施設利用・館内見学
10	31	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学	大学生	11	施設利用・館内見学
11	2	火	富加町	富加町立富加小学校	小1	58	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	2	火	土岐市	土岐市立泉西小学校	小5	46	展示解説(輪中の話)・特別展見学・展示セルフガイド
11	4	木	川辺町	川辺町立川辺東小学校	小1	29	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	4	木	笠松町	笠松町立松枝小学校	小1	89	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
11	4	木	関市	関市立旭ヶ丘中学校	中1	123	特別展見学・館内見学
11	5	金	関市	関市立瀬尻小学校	小2	71	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
11	5	金	本巢市	本巢市立一色小学校	小1	28	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	5	金	岐阜市	岐阜市立鏡島小学校	小5	93	展示セルフガイド
11	9	火	岐南町	岐南町立西小学校	小1	80	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
11	9	火	川辺町	川辺町立川辺西小学校	小1	27	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(ふるさとの哺乳類) 秋みつけ
11	10	水	川辺町	川辺町立川辺西小学校	小1	27	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(ふるさとの哺乳類) 秋みつけ
11	10	水	岐阜市	岐阜市立鷺山小学校	小1	85	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
11	10	水	関市	関市立金竜小学校	小1	101	展示セルフガイド・秋みつけ
11	11	木	岐南町	岐南町立西小学校	小2	73	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり
11	11	木	岐南町	岐南町立北小学校	小1	58	展示解説(恐竜の話)・秋みつけ
11	11	木	神戸町	神戸町立下宮小学校	小4	26	展示解説(合掌造りの話)・展示セルフガイド
11	12	金	本巢市	本巢市立席田小学校	小1	47	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(昆虫の話) 展示セルフガイド・秋みつけ
11	12	金	関市	関市立武芸小学校	小1・2	26	展示解説(恐竜の話)・学芸員解説(昆虫の話) 展示セルフガイド・秋みつけ
11	16	火	御嵩町	御嵩町立上之郷小学校	小4	11	展示解説(輪中の話)・特別展見学・自由見学
11	16	火	可児市	可児市立土田小学校	小1	101	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・秋みつけ
11	16	火	川辺町	川辺町立川辺北小学校	小1	16	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
11	17	水	江南市	江南市立古知野北小学校	小2	76	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
11	17	水	東白川村	東白川村立東白川小学校	小4	16	展示解説(輪中の話)・特別展見学・展示セルフガイド

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
11	18	木	大垣市	大垣市立西小学校	小5	112	展示解説(恐竜の話)・特別展見学・展示セルフガイド
11	18	木	羽島市	羽島市立堀津小学校	小1	30	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
11	19	金	揖斐郡大野町	大野町立南小学校	小1・2	55	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり
11	24	水	岐南町	岐南町立東小学校	小1	125	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・特別展見学 秋みつけ
11	25	木	江南市	江南市立古知野南小学校	小1	141	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
11	26	金	養老町	養老町立日吉小学校	小5	21	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
11	26	金	岐阜市	岐阜市立日野小学校	小1・2	129	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり・秋みつけ
11	28	日	岐阜市	岐阜県自然観察指導員会	一般	29	施設利用
11	30	火	七宗町	七宗町立神測小学校	小1・2	18	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 学芸員解説(昆虫の話)・化石レプリカづくり・秋みつけ
12	1	水	羽島市	羽島市立正木小学校	小3	114	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 学芸員解説(昔のくらしの話)・化石レプリカづくり
12	2	木	本巣市	本巣市立土貴野小学校	小4	24	展示解説(合掌造りの話)・展示セルフガイド・特別展見学
12	2	木	安八町	安八町立牧小学校	小3・4	25	展示解説(恐竜の話・鶴飼の話)・展示セルフガイド 特別展見学
12	3	金	美濃加茂市	県立可茂特別支援学校	中2	28	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり
12	7	火	一宮市	一宮市立丹陽小学校	小3	53	学芸員解説(昔のくらしの話)・展示セルフガイド 化石レプリカづくり
12	7	火	岐阜市	岐阜市立鷺山小学校	小2	70	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド
12	7	火	多治見市	多治見市立小泉小学校	小5	108	展示解説(恐竜の話)・展示セルフガイド・特別展見学
12	8	水	飛騨市	飛騨市立神岡小学校	小5	50	展示セルフガイド・特別展見学
12	9	木	各務原市	各務原市立八木山小学校	小4	36	特別展見学
12	21	火	北方町	北方町立北方小学校	小3	81	学芸員解説(昔のくらしの話)・展示セルフガイド 洗濯体験
3	11	金	美濃加茂市	蜂谷保育園	年長	22	メインホール見学

	団体数	人数
学校団体(幼保含む)	90校	5,171
学校以外の団体	9団体	154
合計	99団体	5,325

⑤出前授業・講師派遣・リモート授業

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、依頼自体が少ない傾向であった。依頼のあった件については、招聘先として各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。遠隔地に学校があったり、感染症対策として来館が難しかったりする学校や、理科や社会科の学習の一環として授業の内容に博物館の展示を活用したいという要望から、リモート授業も実施した。

<出前授業・講師派遣>(教育普及)

期日	依頼者(会場)	対象	人数	講演内容
令和3年8月19日(木)	美濃市藍見公民館(藍見地域ふれあいセンター)	小学生	29	勾玉づくり体験
令和3年11月25日(木)	下呂市立馬瀬小学校	小6	7	化石レプリカづくり・化石取り出し体験
令和3年12月3日(金)	山県市富岡公民館(富岡小学校)	小学生	53	化石取り出し体験
令和3年12月11日(土)	郡上市教育委員会(郡上市防災センター)	小学校	21	化石レプリカづくり・恐竜の絵トレーニング

<出前授業・講師派遣>(自然)

期日	相手先	対象	人数	授業内容
令和3年9月27日(月)	多治見市立南姫小学校・市之倉小学校	小6	27	大昔の人々の暮らし
令和3年10月27日(水)	本巣市立本巣小学校	小6	53	恐竜の話
令和3年10月27日(水)	岐阜県立岐山高等学校	高校生	21	特別展「今日から防災!」解説
令和3年11月9日(火)	本巣市立一色小学校	小6	34	恐竜の話
令和3年12月15日(水)	本巣市立外山小学校	小6	10	恐竜の話
令和4年1月19日(水)	岐阜市立三里小学校	小4・5・6	13	恐竜の話
令和4年1月21日(金)	大垣市立静里小学校	小4	49	水生生物の話
令和4年1月25日(火)	本巣市立席田小学校	小6	51	恐竜の話
令和4年2月22日(火)	本巣市立土貴野小学校	小6	23	恐竜の話
令和4年3月10日(木)	岐阜市立長良中学校	中1	86	恐竜の話
令和4年3月11日(金)	岐阜市立長良中学校	中1	29	恐竜の話
令和4年3月16日(水)	各務原市立稲羽中学校	中1・2	191	恐竜の話
令和4年3月18日(金)	本巣市立真正中学校	中1	141	恐竜の話
令和4年3月23日(水)	本巣市立真正中学校	中2	165	恐竜の話

<出前授業・講師派遣>(自然)

期 日	依頼者(会場)	対象	人数	講演内容
令和3年 6月14日(月)	各務原高等学校	高1	22	各務原市内の植物と昆虫の話

<出前授業・講師派遣>(人文)

期 日	依頼者(会場)	対象	人数	講演内容
令和3年 9月25日(土)	森林文化アカデミー(リモート)	一般	9	「旧宮川家住宅保存活用計画」策定について

⑥資料貸出

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
自 然	岐阜聖徳学園大学附属小学校 丹波市	動物骨格標本 恐竜全身骨格レプリカなど	令和 3年 5月 6日 令和 3年 7月12日	令和 3年 5月14日 令和 3年 9月13日	4 8
	可児市立西可児中学校	哺乳類の頭骨	令和 3年 6月13日	令和 3年 6月26日	2
	岐阜市長良川鵜飼伝承館	鳥類の剥製	令和 3年 7月 6日	令和 3年 9月 7日	2
	エコミュージアム関ヶ原	昆虫標本	令和 3年 6月23日	令和 3年 8月31日	10
	エコミュージアム関ヶ原	鳥類の剥製	令和 3年 9月10日	令和 3年12月 8日	6
	高山市立花里小学校	化石レプリカセット	令和 3年 9月18日	令和 3年 9月24日	30
	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	爬虫類の歯化石	令和 3年 9月 1日	令和 3年11月30日	1
	山県市立大桑小学校	化石レプリカセット	令和 3年12月23日	令和 3年12月24日	8
	エコミュージアム関ヶ原	サクラの標本	令和 4年 3月10日	令和 4年 5月10日	6
	人 文	高山陣屋管理事務所	トビ(川狩り用)他	平成31年 4月 1日	令和 4年 3月31日
済法寺		木造十一面観音立像(レプリカ)他	令和元年 5月 1日	令和 4年 4月30日	5
多治見市美濃焼ミュージアム		元和八年銘 織部燭台	令和 3年 1月14日	令和 4年 3月31日	1
合 計					98

⑦画像提供等

	機 関 名	資 料 名	申請日(提供日)	点数
自 然	岐阜大学野生資源学研究室	哺乳類標本(データ)	令和3年 4月16日	1
	岐阜新聞社	ディノニクス復元画など(画像)	令和3年 4月16日	3
	笠松町歴史未来館	ジオランドぎふ 地質図(データ)	令和3年 5月 5日	1
	丹波市	恐竜復元画(画像)	令和3年 5月12日	1
	岐阜大学野生資源学研究室	哺乳類及び仮剥製	令和3年 5月29日	30
	幕別町教育委員会	ナウマンゾウ全身骨格(画像)	令和3年 6月 4日	1
	京都大学理学研究科動物行動学研究室	メグロ仮剥製	令和3年 7月28日	3
	個人	ジオランドぎふ 地質図(データ)	令和3年 8月11日	1
	森林研究所	ジオランドぎふ 地質図(データ)	令和3年 8月18日	1
	個人	ブッポウソウ、ヒメハルゼミ	令和3年10月 7日	2
	株式会社 小学館	アロサウルス全身骨格(画像)	令和3年10月28日	1
	東濃地科学センター	パレオパラドキシア(画像)	令和3年12月24日	2
	佐賀県立博物館	タヌキ剥製(画像)	令和4年 1月 7日	3
	岐阜大学教育学部	魚類及び貝類標本(データ)	令和4年 1月25日	2
読売新聞東京本社	オルニトミモサウルス類の群れ(画像)	令和4年 2月 4日	1	
人 文	上石津町郷土資料館	錦絵 熊坂長範など(画像)	令和3年 5月27日	5
	(株)小学館クリエイティブ	美濃篠脇城復元模型(画像)	令和3年 6月10日	1
	県観光資源活用課	壬申の乱図(画像)	令和3年12月 9日	1
	個人	十六銅鐸(画像)	令和3年12月23日	1
	熊谷市立図書館	中山道御下向御休泊御本陣附(画像)	令和4年 1月20日	1
	(株)大垣ケーブルテレビ	錦絵 熊坂長範(画像)	令和4年 1月26日	1
	(株)天夢人	刀 銘 濃州赤坂住兼元など(画像)	令和4年 2月10日	7
	清須市はるひ美術館	諸国瀧廻り 木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧(画像)	令和4年 3月 1日	1
	(株)テレビジョンフィールド	真書太閤記 本能寺焼討之図(画像)	令和4年 3月11日	1
	合 計			

⑧刊行物

名 称	種 別	発行年月日	判、仕様	部 数
岐阜県博物館報第44号	刊行物	令和3年4月1日	A4、36頁	700
岐阜県博物調査研究報告第42号	刊行物	令和4年3月31日	A4、98頁	600
令和4年度 展示・催し物年間スケジュール	リーフレット	令和4年3月31日	A4、3ツ折	40,000
2022 教員のための博物館の日 in 岐阜県博物館	チラシ	令和4年3月31日	A4、両面	1,800
【展覧会刊行物】				
移動展「名前のヒミツ教えます」	ポスター	令和3年4月24日	B2、片面	1,400
移動展「名前のヒミツ教えます」	チラシ	令和3年4月24日	A4、両面	28,000
企画展「ぎふの鳥ライチョウ」	ポスター	令和3年4月24日	B2、片面	1,600
企画展「ぎふの鳥ライチョウ」	チラシ	令和3年4月24日	A4、両面	34,000
博物館・図書館連携企画展「千磨百錬 一よみがえる赤羽刀・後篇」	ポスター	令和3年4月24日	B2、片面	700
博物館・図書館連携企画展「千磨百錬 一よみがえる赤羽刀・後篇」	チラシ	令和3年4月24日	A4、両面	26,000
特別展「薩摩の陶と刀」	ポスター	令和3年7月23日	B2、片面	1,800
特別展「薩摩の陶と刀」	チラシ	令和3年7月23日	A4、両面	110,000
特別展「薩摩の陶と刀」	図録	令和3年7月23日	A4、86頁	600
特別展「今日から防災！」	ポスター	令和3年10月8日	B2、片面	1,800
特別展「今日から防災！」	チラシ	令和3年10月8日	A4、両面	110,000
特別展「今日から防災！」	図録	令和3年10月8日	A4、62頁	600
博物館・岐阜大学連携企画展「恐竜の復元模型展」	ポスター	令和3年10月29日	B2、片面	1,600
博物館・岐阜大学連携企画展「恐竜の復元模型展」	チラシ	令和3年10月29日	A4、両面	26,000
企画展「岐阜の縄文世界」	ポスター	令和4年1月8日	B2、片面	1,600
企画展「岐阜の縄文世界」	チラシ	令和4年1月8日	A4、両面	34,000
博物館・図書館連携企画展「今よみがえる近世の庄屋」	ポスター	令和4年1月22日	B2、片面	1,400
博物館・図書館連携企画展「今よみがえる近世の庄屋」	チラシ	令和4年1月22日	A4、両面	26,000
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション 第190号	チラシ	令和3年4月10日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第191号	チラシ	令和3年6月5日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第192号	チラシ	令和3年7月31日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第193号	チラシ	令和3年9月18日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第194号	チラシ	令和3年10月30日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第195号	チラシ	令和3年12月18日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第196号	チラシ	令和4年2月5日	A4、両面	1,500
マイミュージアムギャラリー	ポスター	令和4年3月31日	B2、片面	1,600
マイミュージアムギャラリー	チラシ	令和4年3月31日	A4、両面	14,000

⑨図書館資料（令和4年3月31日現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	23,945	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	6,136	
児 童 書	1,136	
博 物 館 資 料	5,923	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	37,140	

(2) 広報活動

入館者及びの館外での博物館利用者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

①館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近及び2か月中に開催予定の催し物情報を示し、百年公園来園者に対する当館への誘導を行った。また、特別展・企画展開催中であることを、公園北口から館入口までの各掲示板にポスターを用いてアピールした。

②館内掲示の活用

館入口から本館インフォメーションまでの入館者の移動経路上に、過去の特別展・企画展のポスターアーカイブ、人文・自然分野の特集、館内見どころ案内などを掲示して、博物館の活動や所蔵資料等に対する入館者の興味関心の高揚に努めた。

③情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県で発行されている情報誌や、博物館や観光の紹介ウェブサイト上の読者プレゼントコーナーに招待券を提供した。展覧会の内容に興味関心がある方々が自身で応募されているので、提供した招待券の多くは活用されている。

④情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会、各種講座の開催情報を提供した。各イベントの面白さや意義などを伝えることで、参加者の増加につながった。

⑤SNSによる積極的な情報の発信

ホームページに組み込んである当館公式ツイッターを積極的に活用し、楽しくてためになるタイムリーな情報発信に努めた。日頃からSNSに慣れ親しんでいる若い世代への情報提供に役立ち、「いいね」やリツイートの数も増えてきている。その他、開催するイベント告知だけでなく、各係・学芸員発の専門色のある旬の情報発信も好評だった。

⑥人気マスコットキャラクターの活用

当館の人気キャラクターの「博くん」「アロちゃん」「デスモスさん」を館内外の掲示やSNSへ登場させて、広報大使を務めさせた。

(3) 博物館実習（学生向け）

8月25日（水）から8月29日（日）までの5日間の予定で、岐阜大学（3名）、中部大学（2名）、岐阜女子大学（2名）、愛知学院大学（1名）、名城大学（1名）、立正大学（1名）、立命館大学（1名）、岐阜聖徳学園大学（1名）、岡山理科大学（1名）の9大学から13名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、教育普及3名、自然5名、人文5名であった。実習計画は下記の通りである。

<実習内容>

第1日目	実習開講式、館長講話、学芸部長講話、岐阜県博物館の概要、博物館学芸員の仕事、教育普及係の仕事、人文係の仕事・人文資料の概要
第2日目	自然係の仕事・自然資料の概要、マイ・ミュージアム係の仕事、分野別実習
第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習

ただし、今年度については、新型コロナウイルスの感染拡大により、8月27日から臨時休館の措置が取られたために、博物館実習については、8月25日～27日の3日間に期間を短縮して実施した。

(4) 職場体験学習（中学生）

例年は、関市及び岐阜市の中学校6校から職場体験学習の依頼を受け、各校1～3日間の日程で、職場体験学習の生徒を受け入れるのだが、今年度は新型コロナウイルス対応で各校から校外での体験学習の申し入れが無く、実施しなかった。

(5) 教員のための博物館の日（団体利用説明会）

国立科学博物館が提唱する教員向けプログラム「教員のための博物館の日」により、学校関係者の入館料を減免して、博物館の魅力を知ってもらおうと実施した。あわせて、9月以降に来館予定の学校団体のための団体利用説明会を実施して、利便性を図った。実施内容は、各展示解説、ものづくり体験、博物館の活用例紹介などの時間割をあらかじめ組んでおき、参加者個々が好きなプログラムを選択して参加できる方法を採用した。

展示解説や体験メニューを実際に体験してもらえたことで、団体の利用計画に盛り込む学校が多く、秋以降の学校団体の活動の充実にも大いに役立った。

また、各務原市の教職員研修の1つとして活用いただいたことで、多くの先生方に博物館を体験していただく機会となった。

<参加人数>

	開催日	参加者数（人）	参加校数
1日目	7月27日（火）	26	12校
2日目	7月28日（水）	83	11校
3日目	7月29日（木）	41	17校
4日目	7月30日（金）	33	14校

(6) 三重県総合博物館（MieMu）との交流事業

三重県との交流事業の一環として、相互に職員が出向いて交流企画講演会を実施すること計画した。

<計画内容>

【三重県総合博物館（MieMu）からの派遣】

日時	令和3年10月23日
演題	「三重県を東西に走る中央構造線の活動史」
講師	津村 善博（三重県総合博物館 学芸員）
会場	岐阜県博物館

【岐阜県博物館からの派遣】

日時	令和3年9月18日
演題	「豊臣政権下の稲葉家の動向」
講師	安藤 均（岐阜県博物館 学芸員）
会場	三重県総合博物館（MieMu）

三重県総合博物館の津村学芸員については、岐阜県博物館に迎えて講演していただいた。岐阜県博物館からの安藤学芸員の派遣については、三重県総合博物館の判断により、講演会が中止となり、実施されなかった。

9 利用状況

(1) 利用者数

令和3年度の利用者数は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を受けて、催し物を中止・延期にしたり、臨時休館（8月27日～9月30日）としたりした影響があった。特に特別展「薩摩の陶と刀」は好評であったが、会期中途中で休館となり、入場者数もそれに伴って伸びなかった。特別展「今日から防災！」は学校団体からも関心が高く、入場者数が1万人を突破した。10月～11月の平日には連日の様に学校団体が来館して、高校生以下の利用者数が伸びた。

月	館内利用						館内及び館外利用
	開館日数	総入館者数	一般	大学生	高校生以下	一日平均	
4	26	2,663	1,527	114	1,022	102.4	10,201
5	26	3,394	1,940	60	1,394	130.5	13,491
6	26	2,418	1,536	27	855	93.0	3,973
7	27	3,296	2,116	70	1,110	122.1	3,536
8	21	4,107	2,448	81	1,578	195.6	4,312
9	0	0	0	0	0	0	198
10	27	6,133	2,735	51	3,347	227.1	6,358
11	25	6,737	3,184	20	3,533	269.5	17,540
12	24	2,403	1,230	16	1,157	100.1	12,315
1	24	1,992	1,331	20	641	83.0	2,968
2	24	2,149	1,398	22	729	89.5	3,170
3	27	2,994	1,832	28	1,134	110.9	4,143
計	277	38,286	21,277	509	16,500	138.2	82,205

特別展	期 間	期間中入館者数
薩摩の陶と刀	7/23（金）～8/26（木）（29日間）	5,398
今日から防災！	10/8（金）～12/12（日）（57日間）	12,494

(2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握して今後の博物館運営に生かすために、アンケート調査とその結果を考察している。このアンケートは、県政モニターの方に回答していただいたり、館内数か所に設置した回収箱付近で、来館者が自発的に記入して投函したりする方法で行っているものである。

【表1 来館目的（複数選択可 n=368、R3年4月～R4年3月）】

目的	回答数	構成比
特別展・企画展の観覧	109	29.6%
常設展	94	25.5%
マイミュージアムの観覧	28	7.6%
催し物への参加	12	3.3%
講座・講演会	8	2.2%
初めてで興味があった	41	11.1%
公園に来て	52	14.1%
その他	24	6.5%

来館目的では、表1に示すように、「特別展・企画展」「常設展」の2項目が多く、この傾向は例年と変わらなかった。「百年公園に来たので（14.1%）」「初めてで興味を持ったので（11.1%）」については、百年公園内での掲示や、各種メディアへの情報提供、民間施設など館外での出展などによる広報活動が功を奏したものと考えられる。

【表2 来館者の満足度（選択式 n=287、R.3年4月～R.4年3月）】

※選択肢は「大変良い」「まあ良い」「あまり良くない」「良くない」の4つ。
このうち前2者、後2者をそれぞれ合わせた割合を、満足、不満足として示す。

内 容	満足	不満足
特別展・企画展	98.3	1.7
常設展	97.5	2.5
MMG	96.7	3.3
展示解説	98.1	1.9
催し物	96.2	3.8

[%]

来館者の満足度については、表1に示すように、いずれも95%以上と高い。特別展・企画展もさることながら、常設展のよさにも気づいていただけていることがわかる。常設展を活用した子ども用の展示ワークシートが家族連れの来館者を中心に楽しまれているほか、各種の催し物も全般的に好評であった。

記述式による回答には、「岐阜県の魅力を改めて知るよい機会になった」など、県博物館としての存在意義を示すような意見も複数見られた。建物や展示物の老朽化の指摘や交通の便、ショップの営業など、ハード面に関する要望もあった。館内外にある魅力的な資源（物的、人的、環境的など）の活用など、ソフト面におけるさらなる工夫改善・充実を図っていく。

コロナ感染対策に対するご意見はほとんどなく、多くの来館者にご理解いただけていると感じた。

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

令和3年度の一般会員数は249名、後援会員は6団体である。会員数はここ数年ほぼ横ばい状態。これは、特別展・企画展の充実により加入者は増えているが、一方で、継続会員の高齢化が進み、退会者も多いのが現実である。

若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

令和3度の主な事業、行事は次の通りである。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いくつかの事業を縮小・中止した。

①会議

春季理事会・総会 5月13日(木)
秋季理事会 10月14日(木)
会長・副会長会議 令和4年3月12日(土)

②各種委員会

会報委員会 4月15日(木)
七草委員会・探訪委員会 なし
会計監査 4月15日(木)

③広報誌の発行

「友の会報」は131号(6月)132号(10月)133号(2月)の年3回発行した。「会員の声」を多く掲載、A4判6頁(132号は8ページ)モノクロ、280部。また、会報の一部を博物館HPに掲載した。

④図録の刊行と在庫図録の販売

特別展に合わせ、「薩摩の陶と刀」、特別展「今日から防災」の2種類の図録を刊行した。どちらの図録も、好評であった。館内ショップでの販売と、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館」、「下呂発温泉博物館」での委託販売が中心である。

また、刊行後10年を経過した図録のうち展示に関係する一部の図録については、価格を値下げし販売した。

⑤博物館との共催事業の実施

- ・特別行事
「七草がゆを食べよう」(1月7日予定)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため秋季理事会で開催中止を決定した。2年連続である。
- ・わくわく体験
県独自の緊急事態宣言(4月26日～5月11日)、緊急事態宣言(8月27日～9月30日)、まん延防止重点措置(5月7日～6月20日、1月26日～3月6日)の期間を除き化石クリーニング体験、化石レプリカづくり等、サポーターの協力も得て実施した。
- ・けんぱく教室
「和紙すき体験」等を実施。地域のイベントや民間商業施設での出張けんぱく教室も2年ぶりに実施した。

⑥友の会員の入館料助成・博物館のサポート

今年度の会員の博物館入館者は、常設展184人、特別展179人の計363人。今年度から入館料(団体料金相当)の全面減額をさせていただいている。それに対して、会の角2封筒に博物館HP・ツイッターのQRコードを掲載する、チラシの配付数・回数を増やす等、博物館の広報に努めた。また、ミュージアムショップの充実をはかったり「みんなの部屋」に図書資料を寄贈したり等、博物館の来館者満足度の向上に資することにつとめた。

⑦探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和61年以降、国内探訪として、歴史的名所、旧蹟を訪ねる旅行を83回実施した。平成4年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに15回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
- ・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

令和3年度の探訪の旅は、新型コロナウイルス感染拡大が一向に収まらず中止とした。

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

令和3年度は公開講座(年3回)、機関紙発行(年2回)、会員研修会(年2回)等の諸事業を行った。

令和4年3月現在、会員館は114館、個人会員は13名。主な役員は次の通りである。

会長：若宮 多門
副会長：名和 哲夫、日比野 克彦、副島 雅浩
石崎 泰之、牛丸 岳彦
なお、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

5月	第1回理事会(書面)
6月	通常総会(書面)
7/3	飛騨ブロック部会公開講座
9/30	機関紙『岐阜の博物館』No.189発行
11/20	東濃ブロック部会公開講座
11/27-28	飛騨ブロック部会公開講座
12/23	ひと部会館のマネジメントに関するアンケート調査
3/10	第2回理事会
3/15	学習会第1回
3/24	学習会第2回
3/31	機関紙『岐阜の博物館』No.190発行

IV 利用案内（令和4年度）

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分（入館は16時まで）
11月～3月 9時30分～16時30分（同上）

- 入館料

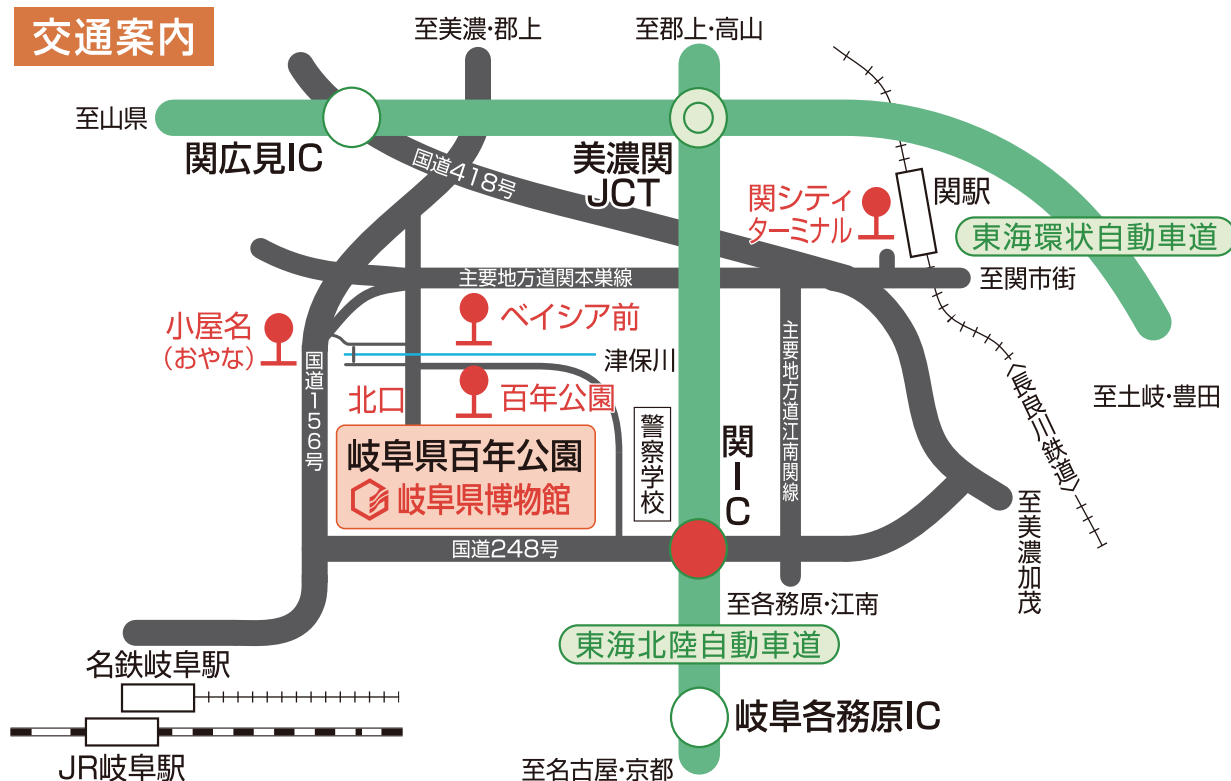
区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	340(280)円	600(520)円	無料
大学生	110(50)円	300(200)円	
高校生以下	無料	無料	

（ ）は20名以上の団体

- 休館日 ・月曜日（祝日または振替休日の月曜日は開館し、その直後の平日が休館）
・年末年始（12月29日～翌年1月3日）

- 駐車場 岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください。

交通案内



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- 岐阜バス（小屋名バス停下車 徒歩20分）
※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。（岐阜関線、岐阜美濃線）
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（岐阜関線）
- 関シティバス（百年公園バス停下車 300m）
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（わかくさ・小金田線、わかくさ・千疋線）

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場（無料）をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができませんので、百年公園管理事務所までお申し出ください。
※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km（勾配有り）です。

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

岐阜県博物館報 第45号

令和4年(2022)4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館
関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
TEL (0575) 28-3111

印刷 株式会社 大一プリント

